

「資料 5 (Society5.0に向けた大学教育と採用に関する考え方) 」

採用と大学教育の未来に関する
産学協議会・報告書

「Society 5.0 に向けた大学教育と
採用に関する考え方」

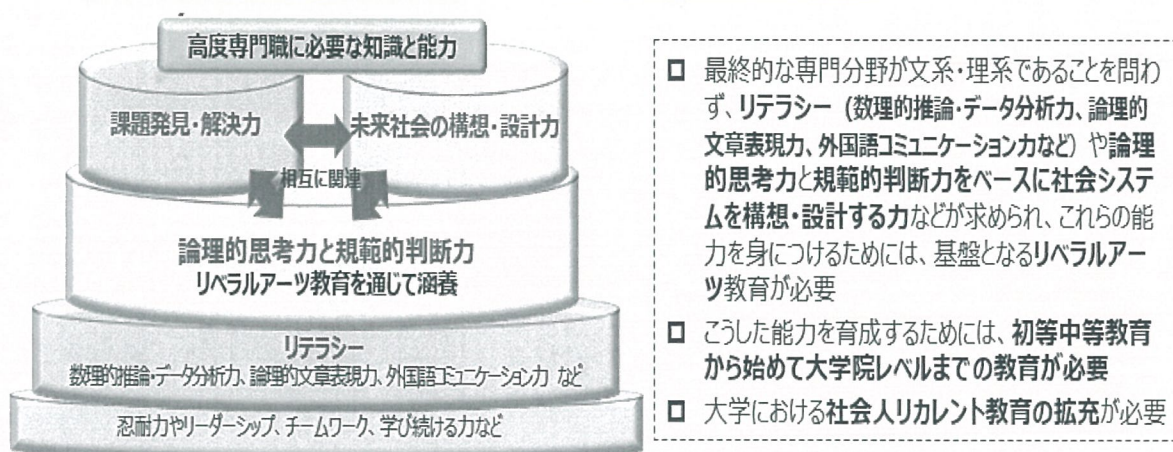
2020年3月31日

第Ⅱ章：Society 5.0 で求められる大学教育と産学連携

1. Society 5.0 で求められる人材と大学教育

産学協議会の「中間とりまとめと共同提言」で整理した通り、Society 5.0 の人材には、最終的な専門分野が文系・理系であることを問わず、リテラシー（数理的推論・データ分析力、論理的文章表現力、外国語コミュニケーション力など）、論理的思考力と規範的判断力、課題発見・解決能力、未来社会の構想・設計力、高度専門職に必要な知識・能力が求められ、これらを身に付けるためには、基盤となるリベラルアーツ教育が重要である【図表2】。

【図表2：Society 5.0 に求められる人材の能力と大学教育】



【出典：採用と大学教育の未来に関する産学協議会「中間とりまとめと共同提言」2019年4月22日】

こうした能力の育成に向けて、各大学は既に、本年1月22日に公表された「教学マネジメント指針」⁵などを踏まえ、学長のリーダーシップの下で、教学マネジメントの確立に取り組み始めている。

またこれらの教育は、高等教育からではなく、初等中等教育段階から始める必要がある。経団連のSociety 5.0包括提言では、初等中等教育から、多様な考えや能力を伸ばす方向に大きく転換し、失敗を恐れず挑戦する習慣を身に付けさせること、高校での進路選択により文理が分断されてしまうことのないよう、高校では、文系・理系の垣根をなくして、文系を選択しても理数の基礎知

⁵ 中央教育審議会大学分科会「教学マネジメント指針」（2020年1月22日）。3つの方針を通じた学修目標の具体化、授業科目・教育課程の編成・実施、学習成果・教育成果の把握・可視化、情報公表などを内容とする。

総論

「生涯学習」とは、一般には人々が生涯に行うあらゆる学習、すなわち、学校教育、家庭教育、社会教育、文化活動、スポーツ活動、レクリエーション活動、ボランティア活動、企業内教育、趣味など様々な場や機会において行う学習の意味で用いられます。また、人々が、生涯のいつでも、自由に学習機会を選択し学ぶことができ、その成果が適切に評価される社会を指すものとして「生涯学習社会」という言葉も用いられます。

また、教育基本法第3条においては、生涯学習の理念として、「国民一人一人が、自己の人格を磨き、豊かな人生を送ることができるよう、その生涯にわたって、あらゆる機会に、あらゆる場所において学習することができ、その成果を適切に生かすことのできる社会の実現が図られなければならない。」と規定されております。

文部科学省では、同法を踏まえ、現在、第3期教育振興基本計画に基づき、生涯にわたる一人一人の「可能性」と「チャンス」の最大化に向け、新しい地域づくりに向けた社会教育の振興方策の検討や、職業に必要な知識やスキルを生涯を通じて身に付けるための社会人の学び直しの推進など、人生100年時代を見据えた生涯学習の推進に取り組んでいます。

第1節

国民一人一人の生涯を通じた学習の支援

「人生100年時代」、「超スマート社会 (Society 5.0)」に向けて社会が大きな転換点を迎える中であって、生涯学習の重要性は一層高まっています。文部科学省では、国民一人一人が生涯を通して学ぶことのできる環境の整備、多様な学習機会の提供、学習した成果が適切に評価され、それを生かして様々な分野で活動できるようにするための仕組みづくりなど、生涯学習社会の実現のための取組を進めています。

生涯学習に係る機会の整備に関する重要事項については、中央教育審議会に生涯学習分科会を置いて審議を行っています。平成30年12月21日には、今後の社会教育の在り方について提言した「人口減少時代の新しい地域づくりに向けた社会教育の振興方策について (答申)」が取りまとめられました*1。

1 社会人の学びの推進

社会の変化の激しい今後の時代においては、学校を卒業し、社会人となった後も、大学等で更に学びを重ね、新たな知識や技能、教養を身に付けることが必要です。また、出産や子育て等、女性のライフステージに対応した活躍支援や、若者の活躍促進等の観点からも、社会人の学び直し (リカレント教育) の推進がより一層求められているため、政府としても、「何歳になっても学び直しができるリカレント教育」を主要テーマの一つとして取り上げ、平成29年9月に「人生100年時代構想会議」を設置しました。同会議において30年6月に取りまとめられた「人づくり革命 基本構想」には、リカレント教育の抜本的拡充について述べられています。

社会人が大学等で学ぶにあたっては、社会人のニーズに合った実践的なプログラムが大学等がないことや、学ぶための時間がないこと、学費負担の問題等があることが指摘されてお

*1 第2部第1章第1節参照

り、大学等における社会人の学びはこれまで低調な状況が続いてきました。

このことを踏まえ、文部科学省は、社会人の学びを推進し、多様なニーズに対応する教育機会の拡充を図るために、大学・大学院・短期大学・高等専門学校における社会人や企業等のニーズに応じた実践的かつ専門的なプログラムを文部科学大臣が認定する「職業実践力育成プログラム」（令和元年5月現在で261課程を認定、うち19課程は短時間で編成される課程（後述））や、専修学校における社会人が受講しやすい工夫や企業等との連携がされた実践的・専門的なプログラムを文部科学大臣が認定する「キャリア形成促進プログラム」（平成31年1月現在で12課程を認定）を制度化しています。また、社会人の短期間で修了できるプログラムに対するニーズが高いことを踏まえ、大学等が行う履修証明制度の最低時間数が「120時間以上」から「60時間以上」に見直されたことにより、これらの文部科学大臣認定制度においても認定対象となるプログラムが拡大されたところです。さらに、これらの制度により認定されたプログラムのうち一定の要件を満たすものについては厚生労働省の教育訓練給付制度の対象とされているなど、社会人の学びを支援しています。

また、IT技術者等を対象とした実践的な教育プログラムの開発・実施等を推進する「Society 5.0に対応した高度技術人材育成事業」、地域や産業界の人材ニーズに対応した、社会人等が学びやすい教育プログラムを開発し実証する取組を推進する「専修学校による地域産業中核的人材養成事業」の実施や、放送大学におけるオンライン授業や他大学との連携等を通じて、人材ニーズに対応したカリキュラムの充実を行っています。

さらに、女性の学びとキャリア形成・再就職支援を一体的に行う仕組み作りや、リカレント教育の講座情報等を提供する総合的な情報提供ポータルサイトの整備などの取組等により、社会人が学びやすい環境整備を行い、社会人学習者への支援を推進しています。

そのほか、社会人の学びを主要な機能の一つと位置づけ、実践的な職業教育を行う新たな高等教育機関として制度化された専門職大学、専門職短期大学及び専門職学科についても、平成31年4月に専門職大学2校と専門職短期大学1校が開学しました。

今後も、関係省庁と連携し、社会人の学びを推進してまいります。



自動車短期大学における実験実習の授業風景（職業実践力育成プログラム認定講座）

2 障害者の生涯を通じた学習の支援

障害者が、生涯にわたり自らの可能性を追求できる環境を整え、地域の一員として豊かな人生を送ることができるようにすることは重要です。平成30年3月に閣議決定された第4次障害者基本計画及び同年6月に閣議決定された第3期教育振興基本計画においても、障害者の生涯学習について明記されました。

「ICTの活用によって、子供たち一人ひとりの力を最大限に伸ばす「学び」(教育×DX)」

- 子供たちの学ぶ意欲に応え、子供たちの力を最大限に伸ばすためには、これからの学校のスタンダードである、子供一人1台の端末と学校における高速大容量のネットワーク環境を最大限に活用していくことが重要です。
- デジタル技術を活用して何をどのように教えるのか、という観点から教育のデジタルトランスフォーメーションを強力に推進し、知識習得型の学びと探究型の学びのベストミックスを図り、教え方や学び方を改革していくことが必要です。
- また、子供たち一人ひとりの状況に合わせて学ぶ機会を拡充し、対面学習とオンライン学習を効果的に組み合わせ、感染症発生時や災害時など、いかなる状況でも子供たちの学びを止めない仕組みを構築していきます。
- さらに、学習データ等の活用により、エビデンスベースの最適化された学びを提供するとともに、蓄積されたビッグデータを教育施策へ反映・展開していきます。

3 「東京型教育モデル」の実践

(1) 「東京型教育モデル」とは

- 「東京の目指す教育」を実現するため、従来の教育の在り方を転換し、「子供の個性と成長に合わせて意欲を引き出す学び」「子供の成長を社会全体で支え、主体的に学び続ける力を育む学び」「ICTの活用によって、子供たち一人ひとりの力を最大限に伸ばす学び」という3つの学びを基軸として、新たな「学び」を創出していきます。
- また、「東京の目指す教育」の在り方は、社会の変化などにも柔軟に対応していくことが求められます。新たな学びを日々実践し、改善を繰り返しながら、理想の教育を追求し続けていきます。
- さらに、こうした教育の在り方を社会全体で共有することによって、子供たちの成長を支えていきます。
- 本大綱では、こうした全体の姿を総称して「東京型教育モデル」として位置付け、教育施策全体を展開していきます。

【東京型教育モデル】

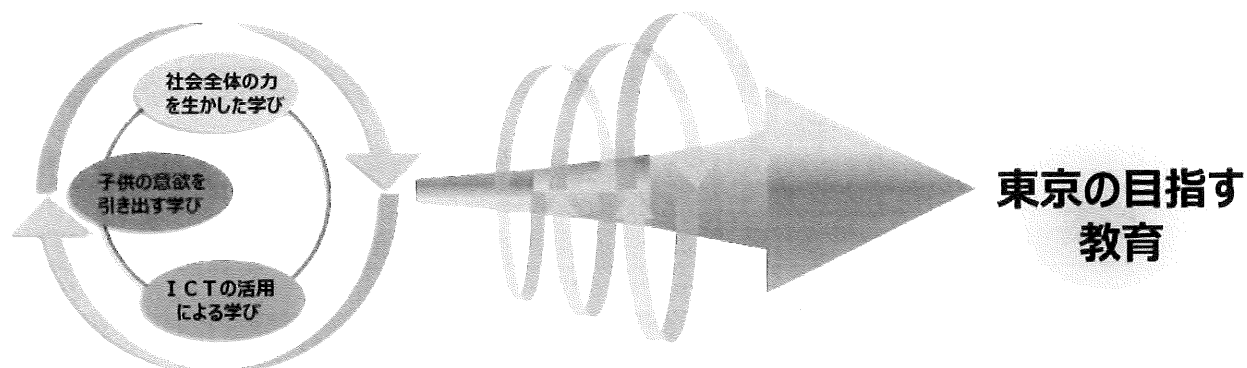
- ① 3つの「学び」[※]を有機的に連携させ、新たな「学び」を創出
- ② 新たな「学び」を日々実践・改善しながら、理想の教育を追求
- ③ 社会の変化に柔軟に対応しながら、東京の目指す教育を実現

【展開のイメージ】

① 新たな学びの創出

② 実践・追求

③ 理想の教育の実現



※3つの「学び」

- 子供の個性と成長に合わせて意欲を引き出す「学び」
- 子供の成長を社会全体で支え、主体的に学び続ける力を育む「学び」
- ICTの活用によって、子供たち一人ひとりの力を最大限に伸ばす「学び」（教育×DX）

「資料 8 (東京都教育施策大綱) 」

バージョンアップする主な分野

成長の源泉となる「人」

都市の発展に不可欠な推進力となる、「人」の力を高め、「人」の力を引き出す

都を取り巻く社会情勢

- ✓ 都の出生数は戦後最低
婚姻件数はコロナ禍で急減
- ✓ G X・D Xの進展による産業構造の転換
など、世界はめまぐるしく変化

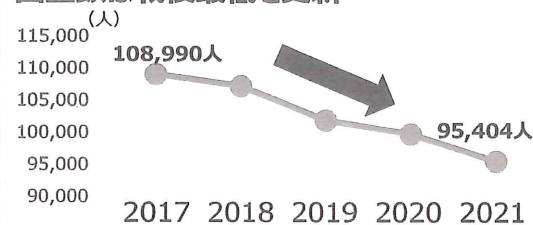
- ✓ グローバル化が進む中、
英語が重要なインフラの一つに
- ✓ コロナ禍で顕在化した孤独・孤立

- ✓ 東京2020大会のレガシー
手話言語条例の施行など共生社会
の実現に向けた気運の高まり

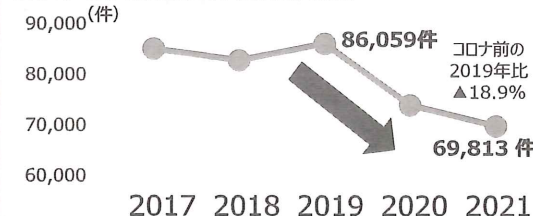
政策目標等の状況

出生数・婚姻件数の推移（都）

出生数は戦後最低を更新



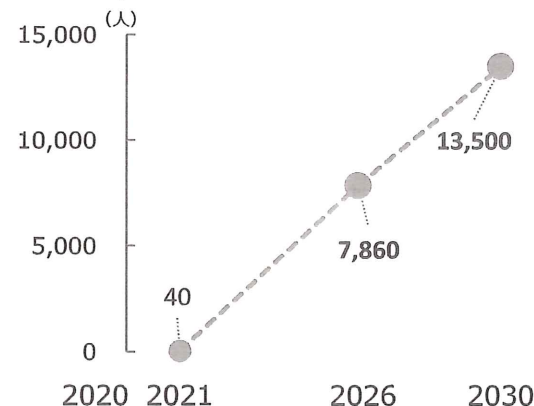
コロナ禍で婚姻件数も急減



海外留学生数を増加

戦略 2

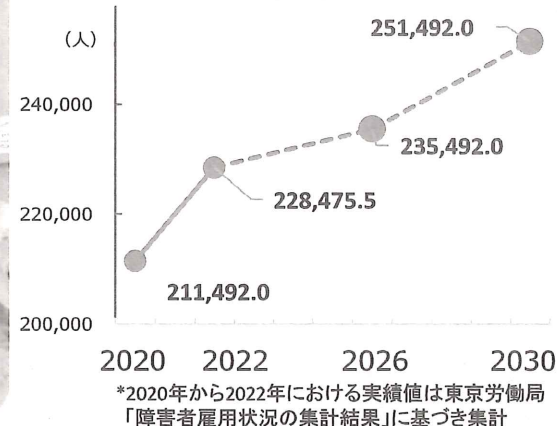
都支援による留学生数 累計13,500人（2021～2030年）



障害者雇用数を増加

戦略5・6

障害者雇用数を40,000人増加 （2021～2030年度）



「未来の東京」の実現に求められるもの

- 待機児童対策などの成果を進化させ、持続可能な社会の実現に向けて、少子化の問題に正面から向き合う
- 国際感覚の醸成やスキルアップによる産業構造の転換への対応など、世界で活躍できる人材の育成・輩出
- 多様性や包摂性を一層高め、誰一人取り残さない共生社会の実現

強化の方向性

チルドレンファーストの社会

P17

【ポイント】

- ✓ これまでにない大胆な政策展開
- ✓ 結婚・妊娠・出産・子育てを切れ目なくサポート
- ✓ 子供目線からの政策展開を加速
- ✓ 多様な学びを支援

【主な施策】

- AIマッチングや都有施設等を活用した交流イベントの開催による結婚支援
- 卵子凍結を希望する人や支援制度を整備する企業を支援
- 収入制限なく、第2子以降の0-2歳児の保育料を無償化
- 018サポートによる0歳～18歳の子供に対する給付金支給
- 学齢期の「子育て」支援

成長の源泉となる人材育成

P23

【ポイント】

- ✓ 国際競争を勝ち抜く英語力を強化
- ✓ 産業構造の転換に柔軟に対応できるようスキルアップを支援
- ✓ 成長分野を生み出すため、起業家精神・アントレプレナーシップをかん養
- ✓ 将来のデジタル人材の裾野拡大

【主な施策】

- 都内高校生を対象とした英語プレゼンコンテストを開催
- 都立大に金融の専門知識とビジネスレベルの英語力をかん養するコースを開設
- キャリアアップに向けたリスキリング・リカレント教育の強化
- 小中学校向け起業家教育を推進
- 子供向けデジタル体験の機会を創出

誰もが個性を活かし、力を発揮できる社会

P27

【ポイント】

- ✓ ソフト・ハードのバリアフリーを更に強化
- ✓ 女性の活躍に向けて社会を変革
- ✓ 人や地域のつながりを創出・活性化
- ✓ 高齢者のQOLを一層向上
- ✓ セーフティーネットを一層充実

【主な施策】

- 手話イベントの開催や手話通訳者等の専門性向上を推進
- 非正規雇用で働く女性等のキャリアチェンジを支援
- 高齢者のデジタルデバйд対策や社会参画への支援を実施
- 要介護度等の維持・改善に向けた取組
- SNS上で相談可能な「バーチャルな居場所」づくりを実施
- 不登校に対応する専門教員等の配置

世界から選ばれ・世界をリードする都市

東京の魅力を磨き上げ、新たな成長の芽を育て、世界から選ばれる

都を取り巻く社会情勢

- ✓日本の魅力は世界1位
(世界経済フォーラム)
- ✓世界競争力ランキングは
過去最低の34位
(スイスのビジネススクール IMD)

- ✓ウクライナ情勢に端を発した、
グローバルなサプライチェーンの変化
- ✓世界ではスタートアップが
産業構造の転換を牽引

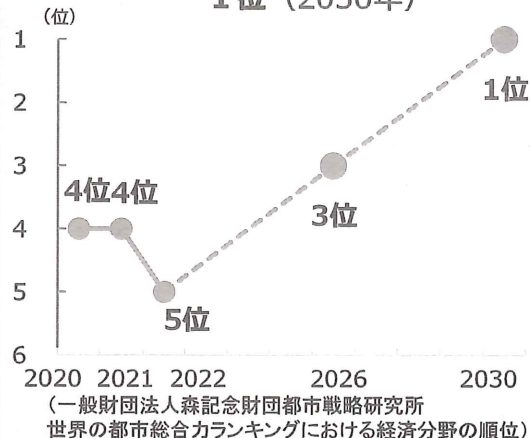
- ✓感染拡大防止と社会経済活動の回復とが
両立した新たなステージ
- ✓G X・D Xが世界経済の新たな基軸
- ✓世界陸上・デフリンピックが
2025年東京で開催

政策目標等の状況

世界の都市ランキング

戦略12

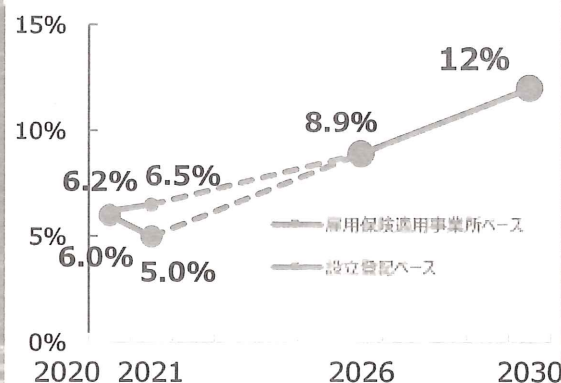
世界の都市ランキング（経済分野） 1位（2030年）



都内開業率

戦略11

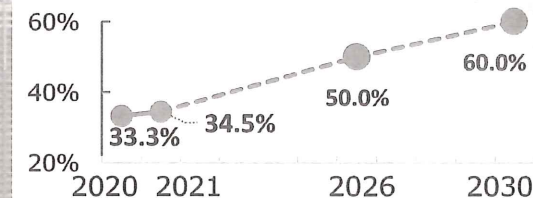
都内開業率 12%（2030年度）



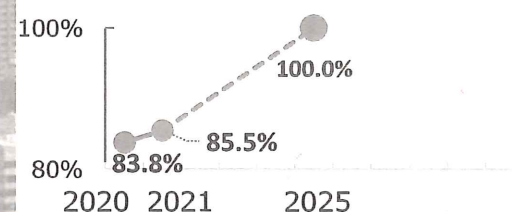
ホームドアの整備

戦略9

J R・私鉄駅 約6割（2030年度）



地下鉄 100%（2025年度）



「未来の東京」の実現に求められるもの

- 東京2020大会レガシーを発展させ、東京が誇る魅力を磨き上げ、世界に発信する
- 加速するG X・D Xの潮流、スタートアップを経済成長の原動力に据え、成長軌道に導く
- 世界から訪れた人々が楽しみ、にぎわいと活気にあふれ、魅力ある都市の構築

強化の方向性

東京のプレゼンスを向上

P35

【ポイント】

- ✓ 国際発信力を強化
- ✓ インバウンド再開を捉えたプロモーション展開
- ✓ 集積する芸術文化資源を最大限活用
- ✓ 世界陸上・デフリンピックを契機にスポーツの力を発信

【主な施策】

- “SusHi Tech Tokyo”を世界に向けて強力に発信
- プロジェクションマッピングを活用した魅力向上
- アニメ・マンガ拠点の整備・運営
- アーティストの創作環境の整備等を推進
- 国際スポーツ大会の誘致・開催支援

イノベーションの創出・危機に強い産業構造へ転換

P41

【ポイント】

- ✓ 新たなスタートアップ戦略の下、スタートアップとの協働を強化
- ✓ 中小企業の産業構造転換を支援
- ✓ G Xを梃子に脱炭素と経済の両立
- ✓ 高度なデジタル人材を活用し、D Xを多面的に展開
- ✓ 世界から投資を呼び込む

【主な施策】

- スタートアップ支援の一大拠点(Tokyo Innovation Base)を構築
- ファンドの新設（大学発スタートアップ・創エネ・蓄エネ推進等）
- 中小企業の成長産業分野への事業転換促進に向けた取組を推進
- 「GovTech東京」の設立

都市機能を高め、世界を魅了

P49

【ポイント】

- ✓ 国際競争力を高める陸海空の都市基盤を整備
- ✓ 利便性やにぎわいを一層向上
- ✓ 緑や水辺を生かした、潤いや憩いを感じられる魅力ある空間の創出

【主な施策】

- 都心部・臨海地域地下鉄など交通ネットワークの拡充
- クルーズ船やビジネスジェットの入入体制を強化
- K K線の上部空間を歩行者中心の公共的空間として再生・活用
- 噴水等の水景施設整備によるにぎわい創出

- **若者から女性、シニアまで、幅広い世代が成長産業分野等のスキルを習得し、キャリアアップを行えるよう、リカレント教育やリスキリングに関する取組を強化する**

キャリアアップ・スキルアップの動機付け

実践的な学びでスキルアップ

キャリアアップに挑戦

東京リカレントナビの強化

学び直しをサポートするポータルサイト「東京リカレントナビ」により、スキルアップやキャリアチェンジ等につながる教育コンテンツ等を提供

東京都 東京リカレントナビ 大人の学び直し、はじめよう。

- レコメンド機能を追加するほか、体系的な学び直しを可能とするコンテンツを制作・配信し、学び直しを支援

各施策と連携

東京しごとセンターによる後押し

- 就職活動や就職後に役立つ知識・スキルを習得するための各種セミナーや能力開発等の情報を提供



英語による交流機会の創出

- 大丸有地区において、官民一体となって英語を使う機会を創出するためのムーブメントを展開



成長産業分野等に関するスキルアップ講座の拡充

- eラーニング等による新たな資格やスキルの取得支援及び職業紹介等の就職支援を一体的に実施
- 求職者に対し、企業で導入が進んでいるノーコード・ローコードによるアプリ作成スキルを提供
- 都立大で、社会人等を対象にA Iやデータサイエンスを学べる講座を開講

スタートアップを活用したスキルアップの実施

- リスキリングに知見を有したスタートアップの活用により、中小企業のデジタル化の推進に向けたデジタル人材の育成を支援

他団体との連携

- 区市町村や民間企業等が実施している学び直しにつながる施策や講座等と連携を強化

職業能力開発センターの体制強化

- 職業能力開発センター赤羽校を建替えるとともに、環境・エネルギー分野の内容を重視した訓練を実施することで、GXを担う人材の育成を強化



職業能力開発センターしごとセンター校（仮称）の新設

- 職業能力開発センターしごとセンター校（仮称）の新設により、しごとセンターやハローワークを利用する方に、職業訓練の機会を円滑に提供し、高い技能を身に付けた上で就職する流れを創出

東京しごとセンターによる就業支援

- 再就職を希望するシニアに向け、再活躍応援講座を提供
- 東京しごとセンターにオンライン面接ブースを設置しオンライン就職面接対策を実施
- G XやD X分野の求人企業を集めたマッチングイベントを開催し、合同就職面接会や個別相談会を実施



リカレント教育・リスキリング等の学び直しにより、スキルや知識をアップデートし、キャリアアップ



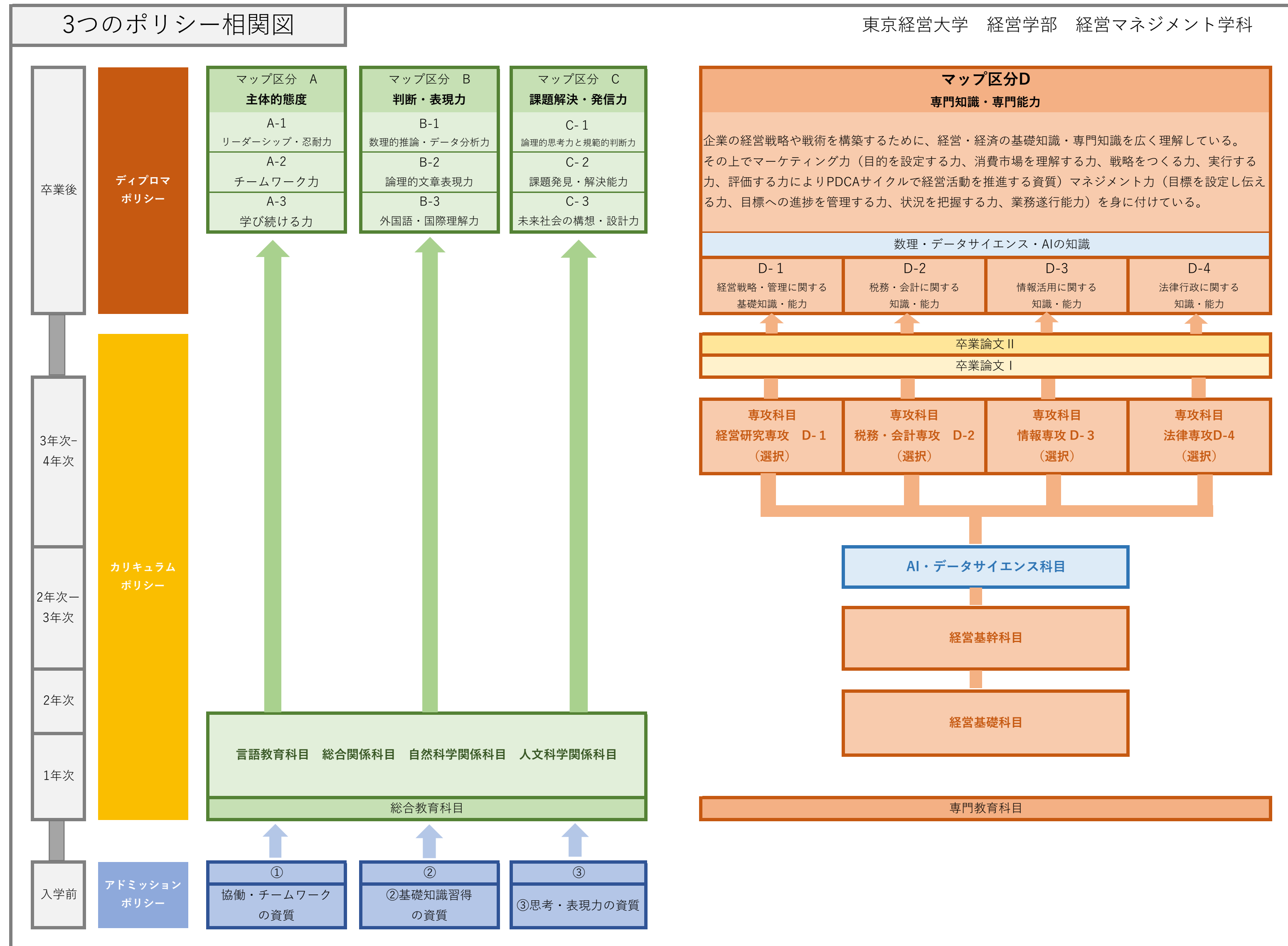
【資料9】（東京経営大学 経営学部 ディプロマポリシー）」

Society 5.0 人材に求められる資質・能力

社会的実践力「4つの要素（求められる力）」

4つの要素	Map 区分	求められる力		定義	キーワード
主体的態度	A-1	リーダーシップ・忍耐力		社会人としての自覚と組織内での役割を認識する力を涵養し、組織内での主体的な働きかけにより自己を確立する。	受容・共感
					アイデンティティ
	A-2	チームワーク力		他者の価値観を理解し、集団の中で自己や他者の役割を理解し、信頼を構築する。	他社理解
					コミュニケーション
	A-3	学び続ける力		自己の職能を自覚して、継続的に必要なスキルを修得することにより将来的なキャリア形成につなげていく姿勢を有している。	自己分析
					キャリアプラン
判断・表現力	B-1	数理的推論・データ分析力		数学的計算能力と判断推理能力の養成により課題解決に必要な指標分析能力を有して課題を体系化できる。	数的推理
					判断推理
	B-2	論理的文章表現力		日本語表現能力を高めて、ビジネス文書や企画提案書などの文章表現を理解する。	日本語表現
					プレゼンテーション
	B-3	外国語・国際理解力		国際社会を理解し、国際共通語である英語のコミュニケーション力を有している。	英語基礎能力
					国際情勢
課題解決・発信力	C-1	論理的思考力と規範的判断力		筋道を立てて考える力と踏まえるべき社会活動における法令や原則を理解する。	ロジカルシンキング
					社会一般常識
	C-2	課題発見・解決能力		現状分析と課題の体系化とその解決のための施策提案について取り組む。	問題発見
					企画立案
	C-3	未来社会の構想・設計力		自然環境・社会環境の変化や多様性（ダイバーシティー）を広く理解して、新たなビジネスモデルの提案ができる。	情報収集
					近未来予測
専門知識・専門能力	D	経営学の基礎知識・能力		企業の経営戦略や戦術を構築するために、経営・経済の基礎知識・専門知識を身に付けている。その上でマーケティング力（目的を設定する力、消費市場を理解する力、戦略をつくる力、実行する力、評価する力によりPDCAサイクルで経営活動を推進する資質）マネジメント力（目標を設定し伝える力、目標への進捗を管理する力、状況を把握する力、業務遂行能力）を身に付けている。	経営学基礎
					マーケティング
					マネジメント
		数理・データサイエンス・AIの知識		数理・データサイエンス・AIを活用して課題を解決するための実践的な能力を身に付けている。	数理・データサイエンス・AI
		D-1	経営戦略・管理に関する知識・能力	経営に関する基礎知識・技能を基盤に、客観的な思考能力とより幅広い産業構造の理解を以て、組織や制度を構築し、また既存の概念を変革しうる能力を身に付けている。	経営分析
					組織行動
		D-2	税務・会計に関する知識・能力	組織体の状況や活動を税務・会計データに基づいて可視化し、経営活動にアプローチできる管理能力を身に付けている。	財務会計・税務会計
					管理会計
		D-3	情報活用に関する知識・能力	デジタル社会の必須能力として、サイト制作・プログラミングの基礎を理解して活用できる能力の他、ビジネス課題の改善を目的として、各種データ収集、分析手法の選択や適用および分析結果を説明できる能力を身に付けている。	プログラミング
					システム開発
		D-4	法律行政に関する知識・能力	法律行政に関する基礎的知識を修得し、行政活動の前提となる知識に加え、人文・社会・自然などに関する幅広い教養を身に付けている。	関係法令
					行政活動

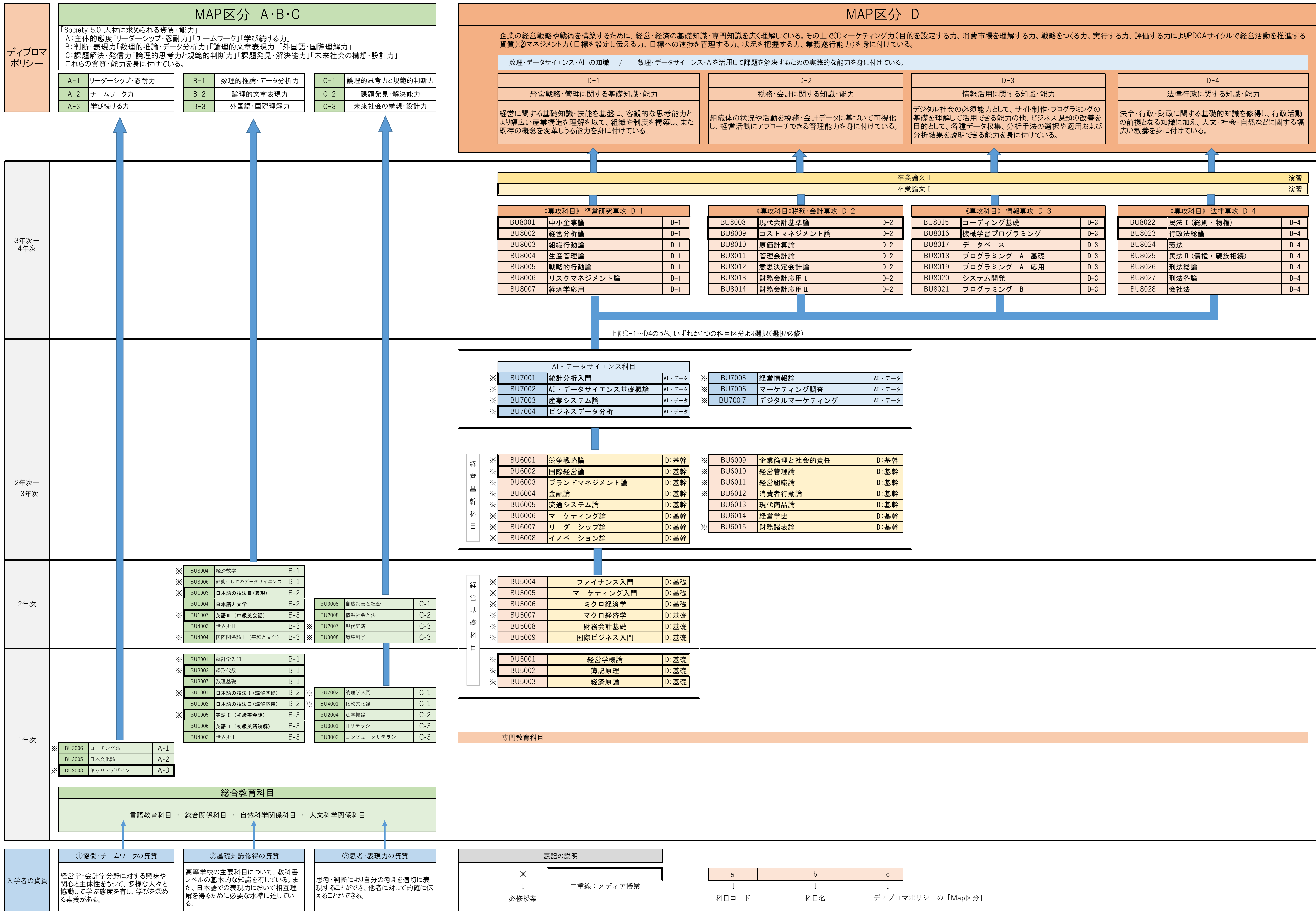
「資料10（東京経営大学 経営学部 3つのポリシー：相関図）」



「資料11(東京経営大学 経営学部 カリキュラムマップ)」

東京経営大学 経営学部経営マネジメント学科 カリキュラムマップ

Ver.3



「資料12 (中央教育審議会 学士課程教育の構築に向けて) 」

対応も始まっている^{*1}。

しかしながら、学士課程教育の目的は、職業人養成にとどまるものではない。自由で民主的な社会を支え、その改善に積極的に関与する市民や、生涯学び続ける学習者を育むこと、知の世界をリードする研究者への途を開くことなど、多様な役割・機能を担っている。各大学は、このことを踏まえて、自主性・自律性を備えた教育機関として、学士課程を通じて学生が修得すべき学習成果の在り方について、さらに吟味することが求められる。

(カ) これまで大学設置の規制を緩和したり、機能別の分化を促進したりすることで、個々の大学の個性化・特色化を積極的に進めてきた結果、大学全体の多様化は大いに進んだ。

しかしながら、学士課程あるいは各分野の教育における最低限の共通性があるべきではないかという課題は必ずしも重視されなかった。

例えば、学位に付記する専攻分野の名称は年々多様化し、その種類は、平成17年度時点で約580に達する。また、その名称の約6割は、専ら当該大学のみで用いられている(図表2-3)。このように過度に細分化された状態が、真に学問の進展に即したもののなか、学生の学習成果を表現するものとして適切なものか、能力の証明としての学位の国際的通用性を阻害するおそれはないのか、懸念を持たざるを得ない状況である。

こうした状態は、今後進めていこうとする留学生交流についても、隘路となってしまうおそれがある。

(3) 改革の方向

(イ) 学位授与の方針に関し、以上のような国際的な動向や我が国の実情を踏まえると、今後、学生による学習の成果を重視する観点から、各大学では、学位授与の方針や教育研究上の目的を明確化し、その実行と達成に向けて教育活動を展開していくことが必要となる。

(イ) 各大学において、学生の学習成果に関する目標を掲げるに当たっては、21世紀型市民として自立した行動ができるような、幅の広さや深さを持つものとして設定することが重要である。また、各大学の教育理念や建学の精神との関連に十分留意して、学習成果として目指す姿を明確に示し、これを学生に浸透させることが必要である。

その際、一般教育や共通教育、専門教育といった科目区分にとらわれることなく、また、学生の自主的活動や学生支援活動を含む教育活動全体を通じて検討されるべきである。

(ウ) また、国として、そうした大学の取組を支援していくとともに、個別大学の取組を支える基盤として、分野を横断し、さらには各分野にわたり、学位の水準の具体的な枠組みづくりを促進していくことが極めて重要となる。

我が国は、OECDの高等教育における学習成果の評価(AHELO)のフィージビリティ・スタディに参加する意志を表明しており、こうした動きへ適切に対応していく観点からも、必要な取組を進めていくことが求められる。

*1 例えば、厚生労働省は「若年者就職基礎能力」(平成18年)、経済産業省は「社会人基礎力」(平成18年)を提起している。これらは、必ずしも大卒者のみを念頭に置いたものではないが、産業界の期待・要請する能力を簡明に表現したものとして参考に値する。

能な指標によってあらかじめ目標を設定しておくこと等に留意する。

- ◆ 学位授与の方針等に即して、学生の学習到達度を的確に把握・測定し、卒業認定を行う組織的な体制を整える。

各大学の個性や特色、専門分野の特質に応じて、客観性・標準性を備えた学内試験の実施や外部試験の結果の活用についても検討し、適切に対応する。

- ◆ 大学の実情に応じ、学位の水準を確保する観点から、学位授与の方針の策定、学位審査体制の確立に当たって、それらの客観性を高める仕組みについて検討する。

例えば、大学間連携の取組の一環として相互に関与したり、外部専門家の意見を参考にしたりすることを検討する。

- ◆ 学位に付記する専攻分野の名称については、学問の動向や国際的通用性に配慮して適切に定める。

類例がなく定着していない名称は避けるよう努める。仮にそれを用いる場合、依拠・関連する既存の学問領域との関係について説明責任を果たすようにする。

【国によって行われるべき支援・取組】

- ◆ 国として、学士課程で育成する21世紀型市民の内容（日本の大学が授与する学士が保証する能力の内容）に関する参考指針を示すことにより、各大学における学位授与の方針等の策定や分野別の質保証枠組みづくりを促進・支援する。

各専攻分野を通じて培う学士力

～学士課程共通の学習成果に関する参考指針～

1. 知識・理解

専攻する特定の学問分野における基本的な知識を体系的に理解するとともに、その知識体系の意味と自己の存在を歴史・社会・自然と関連付けて理解する。

- (1) 多文化・異文化に関する知識の理解
- (2) 人類の文化、社会と自然に関する知識の理解

2. 汎用的技能

知的活動でも職業生活や社会生活でも必要な技能

- (1) コミュニケーション・スキル
日本語と特定の外国語を用いて、読み、書き、聞き、話すことができる。
- (2) 数量的スキル
自然や社会的事象について、シンボルを活用して分析し、理解し、表現することができる。
- (3) 情報リテラシー
情報通信技術（ICT）を用いて、多様な情報を収集・分析して適正に判断し、モラルに則って効果的に活用することができる。
- (4) 論理的思考力

情報や知識を複眼的、論理的に分析し、表現できる。

(5) 問題解決力

問題を発見し、解決に必要な情報を収集・分析・整理し、その問題を確実に解決できる。

3. 態度・志向性

(1) 自己管理能力

自らを律して行動できる。

(2) チームワーク、リーダーシップ

他者と協調・協働して行動できる。また、他者に方向性を示し、目標の実現のために動員できる。

(3) 倫理観

自己の良心と社会の規範やルールに従って行動できる。

(4) 市民としての社会的責任

社会の一員としての意識を持ち、義務と権利を適正に行使しつつ、社会の発展のために積極的に関与できる。

(5) 生涯学習力

卒業後も自律・自立して学習できる。

4. 統合的な学習経験と創造的思考力

これまでに獲得した知識・技能・態度等を総合的に活用し、自らが立てた新たな課題にそれらを適用し、その課題を解決する能力

- ◆ 将来的な分野別評価の実施を視野に入れて、大学間の連携、学協会を含む大学団体等を積極的に支援し、日本学術会議との連携を図りつつ、分野別の質保証の枠組みづくりを促進する（第4章で説明）。

例えば、大学の個性化・特色化に伴う教育の多様性の確保に配慮しつつ、学習成果や到達目標の設定、コア・カリキュラムの策定、モデル教材やFDプログラムの研究開発などを促進する。あわせて、海外の先導的な事例に関する情報収集を行い、その成果を広く提供する。

- ◆ OECDの高等教育における学習成果の評価(AHELO)の内容・方法が適切なものとなるよう、関与・貢献していく。

我が国は、OECDの高等教育における学習成果の評価(AHELO)のフィージビリティ・スタディに参加する意志を表明している。フィージビリティ・スタディの過程では、調査結果が安易な序列化を招くことなく、信頼に足るものとなるようにするとともに、我が国の大学教育の質の向上に寄与する知見が得られるように努める。

- ◆ 学習成果の測定・把握や、学習成果を重視した大学評価の在り方などについて、調査研究を行う。

諸外国の先進事例を調査する。また、国として直接、あるいは、大学間の連携強化に向けた取組の支援を通じ、学生の生活実態や価値観、学習状況に関する実証的なデータを整備する。

- ◆ 学位に付記する専攻名称の在り方について、一定のルール化を検討するとともに学問の動向や国際的通用性に照らしたチェックがなされるようにする。

「資料 13（春入学・秋入学の授業科目の配置）」

春入学の授業科目の配置（1 年次・3 年次）

春入学／経営研究専攻

■経営研究専攻コース

科目区分			1年次	単位	2年次	単位	3年次	単位	4年次	単位	取得 単位
			春入学生:4月～翌年3月		春入学生:4月～翌年3月		春入学生:4月～翌年3月		春入学生:4月～翌年3月		
専門教育科目	言語 目 教 育 科	日本語の技法Ⅰ(読解基礎)	2	日本語の技法Ⅲ(表現)	2						4
		日本語の技法Ⅱ(読解応用)	2							2	
		英語Ⅰ(初級英会話)	2							2	
	総合 関 係 科 目	統計学入門	2	コーチング論	2					4	
		論理学入門	2	現代経済	2					4	
		キャリアデザイン	2	情報社会と法	2					4	
		法学概論	2							2	
	自然 科 目 学 関 係	ITリテラシー	2	経済数学	2					4	
		コンピュータリテラシー	2	教養としてのデータサイエンス	2					4	
		線形代数	2	環境科学	2					4	
		数理基礎	2							2	
	人文科学 関係科目	比較文化論	2	国際関係論Ⅰ(平和と文化)	2						4
	経営 基 礎 科 目	経営学概論	2	ファイナンス入門	2					4	
		簿記原理	2	マーケティング入門	2					4	
		経済原論	2	ミクロ経済学	2					4	
				マクロ経済学	2					2	
				財務会計基礎	2					2	
				国際ビジネス入門	2					2	
	経営 基 幹 科 目			競争戦略論	2	マーケティング論	2				4
				ブランドマネジメント論	2	企業倫理と社会的責任	2				4
				イノベーション論	2	消費者行動論	2				4
				経営管理論	2	財務諸表論	2				4
						リーダーシップ論	2				2
						現代商品論	2				2
						経営学史	2				2
						国際経営論	2				2
						流通システム論	2				2
						経営組織論	2				2
					金融論	2				2	
	サイ デ ィ										

春入学／税務・会計専攻

■税務・会計専攻コース

科目区分			1年次	単位	2年次	単位	3年次	単位	4年次	単位	取得 単位
			春入学生:4月～翌年3月		春入学生:4月～翌年3月		春入学生:4月～翌年3月		春入学生:4月～翌年3月		
専門教育科目	言語教育科目		日本語の技法Ⅰ(読解基礎)	2	日本語の技法Ⅲ(表現)	2					4
			日本語の技法Ⅱ(読解応用)	2						2	
			英語Ⅰ(初級英会話)	2						2	
			英語Ⅱ(初級英語読解)	2						2	
	総合関係科目		統計学入門	2	コーチング論	2					4
			論理学入門	2	現代経済	2					4
			キャリアデザイン	2	情報社会と法	2					4
			法学概論	2						2	
	自然科目学関		ITリテラシー	2	経済数学	2					4
			コンピュータリテラシー	2	教養としてのデータサイエンス	2					4
			線形代数	2	環境科学	2					4
	人文科学関係科目		比較文化論	2	国際関係論Ⅰ(平和と文化)	2					4
	経営基礎科目		経営学概論	2	ファイナンス入門	2					4
			簿記原理	2	マーケティング入門	2					4
			経済原論	2	ミクロ経済学	2					4
					マクロ経済学	2					2
					財務会計基礎	2					2
					国際ビジネス入門	2					2
	経営基幹科目				競争戦略論	2	マーケティング論	2			4
					ブランドマネジメント論	2	企業倫理と社会的責任	2			4
					イノベーション論	2	消費者行動論	2			4
					経営管理論	2	財務諸表論	2			4
							リーダーシップ論	2			2
							現代商品論	2			2
							経営学史	2			2
							国際経営論	2			2
							流通システム論	2			2
							経営組織論	2			2
							金融論	2			2
		サイエンス・インターコース		統計分析入門	2	AI・データサイエンス基礎概論	2	デジタルマーケティング	2		
					ビジネスデータ分析	2	マーケティング調査	2			4
					経営情報論	2	産業システム論	2			4
	専攻科目	(D2) 税務・会計					現代会計基準論	4	コストマネジメント論	4	8
							原価計算論	2	意思決定会計論	2	4
							管理会計論	2	財務会計応用Ⅰ	2	4
									財務会計応用Ⅱ	2	2
	科演習							卒業論文Ⅰ	2	2	
								卒業論文Ⅱ	2	2	
単位数				32		42	36		14		124
総単位数											124

春入学／情報専攻

■情報専攻コース

科目区分			1年次	単位	2年次	単位	3年次	単位	4年次	単位	取得 単位
			春入学生:4月～翌年3月		春入学生:4月～翌年3月		春入学生:4月～翌年3月		春入学生:4月～翌年3月		
専門教育科目	言語 目 教 育 科	日本語の技法Ⅰ(読解基礎)	2	日本語の技法Ⅲ(表現)	2					4	
		日本語の技法Ⅱ(読解応用)	2						2		
		英語Ⅰ(初級英会話)	2						2		
	総合 関 係 科 目	統計学入門	2	コーチング論	2				4		
		論理学入門	2	現代経済	2				4		
		キャリアデザイン	2	情報社会と法	2				4		
		法学概論	2						2		
	自然 科 目 学 関 係	ITリテラシー	2	経済数学	2				4		
		コンピュータリテラシー	2	教養としてのデータサイエンス	2				4		
		線形代数	2	環境科学	2				4		
		数理基礎	2						2		
	人文科学 関係科目	比較文化論	2	国際関係論Ⅰ(平和と文化)	2					4	
	経営 基 礎 科 目	経営学概論	2	ファイナンス入門	2					4	
		簿記原理	2	マーケティング入門	2					4	
		経済原論	2	ミクロ経済学	2					4	
				マクロ経済学	2					2	
				財務会計基礎	2					2	
				国際ビジネス入門	2					2	
	経営 基 幹 科 目			競争戦略論	2	マーケティング論	2			4	
				ブランドマネジメント論	2	企業倫理と社会的責任	2			4	
				イノベーション論	2	消費者行動論	2			4	
				経営管理論	2	財務諸表論	2			4	
						リーダーシップ論	2			2	
						現代商品論	2			2	
						経営学史	2			2	
						国際経営論	2			2	
						流通システム論	2			2	
						経営組織論	2			2	
						金融論	2			2	
		サイ デ ィ エ ン タ ・ ス	統計分析入門	2	AI・データサイエンス基礎概論	2	デジタルマーケティング	2			6
				ビジネスデータ分析	2	マーケティング調査	2			4	
				経営情報論	2	産業システム論	2			4	
	専 攻 科 目	情 報 (D 3)				コーディング基礎	4	機械学習プログラミング	4	8	
						データベース	2	プログラミング A 応用	2	4	
						プログラミング A 基礎	2	システム開発	2	4	
								プログラミング B	2	2	
	科 演 目 習							卒業論文Ⅰ	2	2	
								卒業論文Ⅱ	2	2	
単位数			32		42	36		14		124	
総単位数											124

春入学／法律専攻

■法律専攻コース

科目区分			1年次	単位	2年次	単位	3年次	単位	4年次	単位	取得 単位	
			春入学生:4月～翌年3月		春入学生:4月～翌年3月		春入学生:4月～翌年3月		春入学生:4月～翌年3月			
専門 教育 科目	言語 目 教科 目	日本語の技法Ⅰ(読解基礎)	2	日本語の技法Ⅲ(表現)	2						4	
		日本語の技法Ⅱ(読解応用)	2							2		
		英語Ⅰ(初級英会話)	2							2		
	総合 関係 科目	統計学入門	2	コーチング論	2						4	
		論理学入門	2	現代経済	2						4	
		キャリアデザイン	2	情報社会と法	2						4	
		法学概論	2								2	
	自然 科 目 学 関 係	ITリテラシー	2	経済数学	2						4	
		コンピュータリテラシー	2	教養としてのデータサイエンス	2						4	
		線形代数	2	環境科学	2						4	
		数理基礎									0	
	人文科学 関係科目	比較文化論	2	国際関係論Ⅰ(平和と文化)	2						4	
		世界史Ⅰ	2								2	
	経営 基礎 科目	経営学概論	2	ファイナンス入門	2						4	
		簿記原理	2	マーケティング入門	2						4	
		経済原論	2	ミクロ経済学	2						4	
				マクロ経済学	2						2	
				財務会計基礎	2						2	
				国際ビジネス入門	2						2	
	経営 基幹 科目			競争戦略論	2	マーケティング論	2				4	
				ブランドマネジメント論	2	企業倫理と社会的責任	2				4	
				イノベーション論	2	消費者行動論	2				4	
				経営管理論	2	財務諸表論	2				4	
						リーダーシップ論	2				2	
						現代商品論	2				2	
						経営学史	2				2	
						国際経営論	2				2	
						流通システム論	2				2	
						経営組織論	2				2	
						金融論	2				2	
	サイ デ ィ ・ エ ン タ ・ ス 科 目	統計分析入門	2	AI・データサイエンス基礎概論	2	デジタルマーケティング	2				6	
				ビジネスデータ分析	2	マーケティング調査	2				4	
			経営情報論	2	産業システム論	2				4		
専 攻 科 目	法 律 (D 4)					民法Ⅰ(総則・物権)	4	会社法	2		6	
						行政法総論	4	刑法総論	2		6	
						民法Ⅱ(債権・親族相続)	2	刑法各論	2		4	
						憲法	2				2	
科 演 習 目							卒業論文Ⅰ	2		2		
							卒業論文Ⅱ	2		2		
単位数			32		42	40		10			124	
総単位数												124

履修モデル(3年次編入学／経営研究専攻)

■経営研究専攻コース(春入学生)

科目区分			3年次①	単位	3年次②	単位	4年次①	単位	4年次②	単位	取得単位	
			春入学生:4月～翌年3月		春入学生:4月～翌年3月		春入学生:4月～翌年3月		春入学生:4月～翌年3月			
専門教育科目	経営基礎科目	経営学概論	2							2		
		簿記原理	2						2			
		経済原論	2						2			
		ファイナンス入門	2						2			
		マーケティング入門	2						2			
		ミクロ経済学	2						2			
		マクロ経済学	2						2			
		財務会計基礎	2						2			
	経営基幹科目			競争戦略論	2	国際経営論	2			4		
				ブランドマネジメント論	2	経営組織論	2			4		
				マーケティング論	2	金融論	2			4		
				経営管理論	2					2		
				財務諸表論	2					2		
	AI・データサイエンス科目	統計分析入門	2	ビジネスデータ分析	2	マーケティング調査	2			6		
		AI・データサイエンス基礎概論	2	経営情報論	2					4		
				デジタルマーケティング	2					2		
	専攻科目	(経営研究D1)					中小企業論	4	経営分析論	4	8	
							戦略的行動論	2	組織行動論	2	4	
									リスクマネジメント論	2	2	
	科目演習							卒業論文Ⅰ	2	2		
								卒業論文Ⅱ	2	2		
取得単位			20	16			14			12	62	
単位一括認定												62
総取得単位												124

履修モデル(3年次編入学／税務・会計専攻)

■税務・会計専攻コース(春入学生)

科目区分		3年次①	単位	3年次②	単位	4年次①	単位	4年次②	単位	取得 単位	
		春入学生:4月～翌年3月		春入学生:4月～翌年3月		春入学生:4月～翌年3月		春入学生:4月～翌年3月			
専門 教育 科目	経営 基 礎 科 目	経営学概論	2							2	
		簿記原理	2							2	
		経済原論	2							2	
		ファイナンス入門	2							2	
		マーケティング入門	2							2	
		ミクロ経済学	2							2	
		マクロ経済学	2							2	
		財務会計基礎	2							2	
	経営 基 幹 科 目			競争戦略論	2	国際経営論	2			4	
				マーケティング論	2	経営組織論	2			4	
				企業倫理と社会的責任	2					2	
				経営管理論	2					2	
				財務諸表論	2					2	
	AI・データ サイエンス 科目	統計分析入門	2	ビジネスデータ分析	2	マーケティング調査	2			6	
		AI・データサイエンス基礎概論	2	経営情報論	2					4	
				デジタルマーケティング	2					2	
	専 攻 科 目	税 務 ・ 会 計 (D2)				現代会計基準論	4	コストマネジメント論	4	8	
						原価計算論	2	財務会計応用Ⅰ	2	4	
						管理会計論	2	財務会計応用Ⅱ	2	4	
	科 演 習							卒業論文Ⅰ	2	2	
								卒業論文Ⅱ	2	2	
単位数		20		16		14		12		62	
単位一括認定											62
総単位数											124

履修モデル(3年次編入学／情報専攻)

■情報専攻コース(春入学)

科目区分		3年次①	単位	3年次②	単位	4年次①	単位	4年次②	単位	取得 単位	
		春入学生:4月～翌年3月		春入学生:4月～翌年3月		春入学生:4月～翌年3月		春入学生:4月～翌年3月			
専門 教育科目	経営 基礎 科目	経営学概論	2							2	
		簿記原理	2							2	
		経済原論	2							2	
		ファイナンス入門	2							2	
		マーケティング入門	2							2	
		ミクロ経済学	2							2	
		マクロ経済学	2							2	
		財務会計基礎	2							2	
	経営 基幹 科目			競争戦略論	2	国際経営論	2			4	
				マーケティング論	2	経営組織論	2			4	
				経営管理論	2	金融論	2			4	
				財務諸表論	2					2	
	AI・データ サイエンス 科目	統計分析入門	2	ビジネスデータ分析	2	マーケティング調査	2			6	
		AI・データサイエンス基礎概論	2	経営情報論	2					4	
				デジタルマーケティング	2					2	
	専攻 科目 (D3情報)			コーディング基礎	4	データベース	2	機械学習プログラミング	4	10	
						プログラミング A 基礎	2	プログラミング A 応用	2	4	
								システム開発	2	2	
	科演習							卒業論文Ⅰ	2	2	
								卒業論文Ⅱ	2	2	
単位数		20		18		12		12		62	
単位一括認定											62
総単位数											124

履修モデル(3年次編入学／法律専攻)

■法律専攻コース(春入学生)

科目区分		3年次①	単位	3年次②	単位	4年次①	単位	4年次②	単位	取得 単位	
		春入学生:4月～翌年3月		春入学生:4月～翌年3月		春入学生:4月～翌年3月		春入学生:4月～翌年3月			
専門 教育 科目	経営 基 礎 科 目	経営学概論	2							2	
		簿記原理	2							2	
		経済原論	2							2	
		ファイナンス入門	2							2	
		マーケティング入門	2							2	
		ミクロ経済学	2							2	
		マクロ経済学	2							2	
		財務会計基礎	2							2	
	経営 基 幹 科 目			競争戦略論	2	国際経営論	2			4	
				マーケティング論	2	経営組織論	2			4	
				企業倫理と社会的責任	2					2	
				経営管理論	2					2	
				財務諸表論	2					2	
	AI・データ サイエンス 科目	統計分析入門	2	ビジネスデータ分析	2	マーケティング調査	2			6	
		AI・データサイエンス基礎概論	2	経営情報論	2					4	
				デジタルマーケティング	2					2	
	専 攻 科 目	(D4 法 律)				民法Ⅰ（総則・物権）	4	会社法	2	6	
						行政法総論	4	刑法総論	2	6	
						民法Ⅱ（債権・親族相続）	2	刑法各論	2	4	
	科 演 習							卒業論文Ⅰ	2	2	
								卒業論文Ⅱ	2	2	
単位数		20		16		16		10		62	
単位一括認定											62
総単位数											124

秋入学の授業科目の配置（1 年次・3 年次）

秋入学／経営研究専攻

■経営研究専攻コース

科目区分			1年次	単位	2年次	単位	3年次	単位	4年次	単位	取得 単位
			秋入学生：9月～翌年8月		秋入学生：9月～翌年8月		秋入学生：9月～翌年8月		秋入学生：9月～翌年8月		
専門教育科目	言語 目 教 育 科	日本語の技法Ⅰ(読解基礎)	2	日本語の技法Ⅲ(表現)	2					4	
		日本語の技法Ⅱ(読解応用)	2						2		
		英語Ⅰ(初級英会話)	2						2		
	総合 関 係 科 目	統計学入門	2	コーティング論	2					4	
		論理学入門	2	現代経済	2					4	
		キャリアデザイン	2	情報社会と法	2					4	
		法学概論	2						2		
	自然 科 目 学 関 係	ITリテラシー	2	経済数学	2					4	
		コンピュータリテラシー	2	教養としてのデータサイエンス	2					4	
		線形代数	2	環境科学	2					4	
		数理基礎	2						2		
	人文科学 関係科目	比較文化論	2	国際関係論Ⅰ(平和と文化)	2					4	
	経営 基 礎 科 目	経営学概論	2	ファイナンス入門	2					4	
		簿記原理	2	マーケティング入門	2					4	
		経済原論	2	ミクロ経済学	2					4	
				マクロ経済学	2					2	
				財務会計基礎	2					2	
				国際ビジネス入門	2					2	
	経営 基 幹 科 目			競争戦略論	2	マーケティング論	2			4	
				ブランドマネジメント論	2	企業倫理と社会的責任	2			4	
				イノベーション論	2	消費者行動論	2			4	
				経営管理論	2	財務諸表論	2			4	
						リーダーシップ論	2			2	
						現代商品論	2			2	
						経営学史	2			2	
						国際経営論	2			2	
						流通システム論	2			2	
						経営組織論	2			2	
						金融論	2			2	
	サイ デ ィ エ ン タ ・ ス	統計分析入門	2	AI・データサイエンス基礎概論	2	デジタルマーケティング	2			6	
				ビジネスデータ分析	2	マーケティング調査	2			4	
				経営情報論	2	産業システム論	2			4	
	専 攻 科 目	(D1) 経営 研 究				中小企業論	4	経営分析論	4	8	
						生産管理論	2	組織行動論	2	4	
						戦略的行動論	2	リスクマネジメント論	2	4	
								経済学応用	2	2	
	科 演 目 習						卒業論文Ⅰ	2	2		
							卒業論文Ⅱ	2	2		
単位数			32		42	36		14		124	
総単位数											124

秋入学／税務・会計専攻

■税務・会計専攻コース

科目区分			1年次	単位	2年次	単位	3年次	単位	4年次	単位	取得 単位
			秋入学生:9月～翌年8月		秋入学生:9月～翌年8月		秋入学生:9月～翌年8月		秋入学生:9月～翌年8月		
専門教育科目	言語教育科目	日本語の技法Ⅰ(読解基礎)	2	日本語の技法Ⅲ(表現)	2					4	
		日本語の技法Ⅱ(読解応用)	2						2		
		英語Ⅰ(初級英会話)	2						2		
		英語Ⅱ(初級英語読解)	2						2		
	総合関係科目	統計学入門	2	コーチング論	2					4	
		論理学入門	2	現代経済	2					4	
		キャリアデザイン	2	情報社会と法	2					4	
		法学概論	2						2		
	自然科目学関	ITリテラシー	2	経済数学	2					4	
		コンピュータリテラシー	2	教養としてのデータサイエンス	2					4	
		線形代数	2	環境科学	2					4	
	人文科学関係科目	比較文化論	2	国際関係論Ⅰ(平和と文化)	2					4	
	経営基礎科目	経営学概論	2	ファイナンス入門	2					4	
		簿記原理	2	マーケティング入門	2					4	
		経済原論	2	ミクロ経済学	2					4	
				マクロ経済学	2					2	
				財務会計基礎	2					2	
				国際ビジネス入門	2					2	
	経営基幹科目			競争戦略論	2	マーケティング論	2			4	
				ブランドマネジメント論	2	企業倫理と社会的責任	2			4	
				イノベーション論	2	消費者行動論	2			4	
				経営管理論	2	財務諸表論	2			4	
						リーダーシップ論	2			2	
						現代商品論	2			2	
						経営学史	2			2	
						国際経営論	2			2	
						流通システム論	2			2	
						経営組織論	2			2	
						金融論	2			2	
	サイエンス科目	統計分析入門	2	AI・データサイエンス基礎概論	2	デジタルマーケティング	2			6	
				ビジネスデータ分析	2	マーケティング調査	2			4	
				経営情報論	2	産業システム論	2			4	
	専攻科目	税務・会計(D2)				現代会計基準論	4	コストマネジメント論	4	8	
						原価計算論	2	意思決定会計論	2	4	
						管理会計論	2	財務会計応用Ⅰ	2	4	
								財務会計応用Ⅱ	2	2	
	科演習						卒業論文Ⅰ	2	2		
							卒業論文Ⅱ	2	2		
単位数			32	42	36			14		124	
総単位数											124

秋入学／情報専攻

■情報専攻コース

科目区分		1年次	単位	2年次	単位	3年次	単位	4年次	単位	取得単位	
		秋入学生：9月～翌年8月		秋入学生：9月～翌年8月		秋入学生：9月～翌年8月		秋入学生：9月～翌年8月			
専門教育科目	言語 目 教 育 科	日本語の技法Ⅰ(読解基礎)	2	日本語の技法Ⅲ(表現)	2					4	
		日本語の技法Ⅱ(読解応用)	2						2		
		英語Ⅰ(初級英会話)	2						2		
	総合 関 係 科 目	統計学入門	2	コーティング論	2					4	
		論理学入門	2	現代経済	2					4	
		キャリアデザイン	2	情報社会と法	2					4	
		法学概論	2						2		
	自然 科 目 学 関 係	ITリテラシー	2	経済数学	2					4	
		コンピュータリテラシー	2	教養としてのデータサイエンス	2					4	
		線形代数	2	環境科学	2					4	
		数理基礎	2						2		
	人文科学 関係科目	比較文化論	2	国際関係論Ⅰ(平和と文化)	2					4	
	経営 基 礎 科 目	経営学概論	2	ファイナンス入門	2					4	
		簿記原理	2	マーケティング入門	2					4	
		経済原論	2	ミクロ経済学	2					4	
				マクロ経済学	2					2	
				財務会計基礎	2					2	
				国際ビジネス入門	2					2	
	経営 基 幹 科 目			競争戦略論	2	マーケティング論	2			4	
				ブランドマネジメント論	2	企業倫理と社会的責任	2			4	
				イノベーション論	2	消費者行動論	2			4	
				経営管理論	2	財務諸表論	2			4	
						リーダーシップ論	2			2	
						現代商品論	2			2	
						経営学史	2			2	
						国際経営論	2			2	
						流通システム論	2			2	
						経営組織論	2			2	
						金融論	2			2	
		サイ デ ィ ン タ ・ ス ィ ン ス 科 目	統計分析入門	2	AI・データサイエンス基礎概論	2	デジタルマーケティング	2			6
				ビジネスデータ分析	2	マーケティング調査	2			4	
				経営情報論	2	産業システム論	2			4	
	専 攻 科 目	情 報 (D 3)				コーディング基礎	4	機械学習プログラミング	4	8	
						データベース	2	プログラミング A 応用	2	4	
						プログラミング A 基礎	2	システム開発	2	4	
								プログラミング B	2	2	
	科 演 目 習							卒業論文Ⅰ	2	2	
								卒業論文Ⅱ	2	2	
単位数			32		42	36		14		124	
総単位数											124

秋入学／法律専攻

■法律専攻コース

科目区分		1年次	単位	2年次	単位	3年次	単位	4年次	単位	取得 単位	
		秋入学生:9月～翌年8月		秋入学生:9月～翌年8月		秋入学生:9月～翌年8月		秋入学生:9月～翌年8月			
専門教育科目	言語 目 教 育 科	日本語の技法Ⅰ(読解基礎)	2	日本語の技法Ⅲ(表現)	2					4	
		日本語の技法Ⅱ(読解応用)	2							2	
		英語Ⅰ(初級英会話)	2							2	
	総合 関 係 科 目	統計学入門	2	コーチング論	2					4	
		論理学入門	2	現代経済	2					4	
		キャリアデザイン	2	情報社会と法	2					4	
		法学概論	2							2	
	自然 科 学 関 係 科 目	ITリテラシー	2	経済数学	2					4	
		コンピュータリテラシー	2	教養としてのデータサイエンス	2					4	
		線形代数	2	環境科学	2					4	
		数理基礎								0	
	人文科学 関係科目	比較文化論	2	国際関係論Ⅰ(平和と文化)	2					4	
		世界史Ⅰ	2							2	
	経営 基 礎 科 目	経営学概論	2	ファイナンス入門	2					4	
		簿記原理	2	マーケティング入門	2					4	
		経済原論	2	ミクロ経済学	2					4	
				マクロ経済学	2					2	
				財務会計基礎	2					2	
				国際ビジネス入門	2					2	
	経営 基 幹 科 目			競争戦略論	2	マーケティング論	2			4	
				ブランドマネジメント論	2	企業倫理と社会的責任	2			4	
				イノベーション論	2	消費者行動論	2			4	
				経営管理論	2	財務諸表論	2			4	
						リーダーシップ論	2			2	
						現代商品論	2			2	
						経営学史	2			2	
						国際経営論	2			2	
						流通システム論	2			2	
						経営組織論	2			2	
						金融論	2			2	
	サイ デ ィ エ ン ス ・ セン ター	統計分析入門	2	AI・データサイエンス基礎概論	2	デジタルマーケティング	2			6	
				ビジネスデータ分析	2	マーケティング調査	2			4	
				経営情報論	2	産業システム論	2			4	
	専 攻 科 目	法律 (D4)				民法Ⅰ(総則・物権)	4	会社法	2	6	
						行政法総論	4	刑法総論	2	6	
						民法Ⅱ(債権・親族相続)	2	刑法各論	2	4	
						憲法	2			2	
	科 演 習						卒業論文Ⅰ	2	2		
							卒業論文Ⅱ	2	2		
単位数			32		42	40		10		124	
総単位数											124

履修モデル(3年次編入学／経営研究専攻)

■経営研究専攻コース(秋入学生)

科目区分			3年次①	単位	3年次②	単位	4年次①	単位	4年次②	単位	取得単位	
			春入学生:4月～翌年3月		春入学生:4月～翌年3月		春入学生:4月～翌年3月		春入学生:4月～翌年3月			
専門教育科目	経営基礎科目	経営学概論	2							2		
		簿記原理	2						2			
		経済原論	2						2			
		ファイナンス入門	2						2			
		マーケティング入門	2						2			
		ミクロ経済学	2						2			
		マクロ経済学	2						2			
		財務会計基礎	2						2			
	経営基幹科目			競争戦略論	2	国際経営論	2			4		
				ブランドマネジメント論	2	経営組織論	2			4		
				マーケティング論	2	金融論	2			4		
				経営管理論	2					2		
				財務諸表論	2					2		
	AI・データサイエンス科目	統計分析入門	2	ビジネスデータ分析	2	マーケティング調査	2			6		
		AI・データサイエンス基礎概論	2	経営情報論	2					4		
				デジタルマーケティング	2					2		
	専攻科目	(経営研究D1)					中小企業論	4	経営分析論	4	8	
							戦略的行動論	2	組織行動論	2	4	
									リスクマネジメント論	2	2	
	科目演習							卒業論文Ⅰ	2	2		
								卒業論文Ⅱ	2	2		
取得単位			20	16			14		12		62	
単位一括認定												62
総取得単位												124

履修モデル(3年次編入学／税務・会計専攻)

■税務・会計専攻コース(秋入学生)

科目区分			3年次①	単位	3年次②	単位	4年次①	単位	4年次②	単位	取得 単位	
			春入学生:4月～翌年3月		春入学生:4月～翌年3月		春入学生:4月～翌年3月		春入学生:4月～翌年3月			
専門 教育 科目	経営 基礎 科目	経営学概論	2							2		
		簿記原理	2						2			
		経済原論	2						2			
		ファイナンス入門	2						2			
		マーケティング入門	2						2			
		ミクロ経済学	2						2			
		マクロ経済学	2						2			
		財務会計基礎	2						2			
	経営 基幹 科目			競争戦略論	2	国際経営論	2			4		
				マーケティング論	2	経営組織論	2			4		
				企業倫理と社会的責任	2					2		
				経営管理論	2					2		
				財務諸表論	2					2		
	AI・データ サイエンス 科目	統計分析入門	2	ビジネスデータ分析	2	マーケティング調査	2			6		
		AI・データサイエンス基礎概論	2	経営情報論	2					4		
				デジタルマーケティング	2					2		
	専攻 科目	税務・会計 (D2)					現代会計基準論	4	コストマネジメント論	4	8	
							原価計算論	2	財務会計応用Ⅰ	2	4	
							管理会計論	2	財務会計応用Ⅱ	2	4	
	演習 科目							卒業論文Ⅰ	2	2		
								卒業論文Ⅱ	2	2		
単位数			20	16			14			12	62	
単位一括認定												62
総単位数												124

履修モデル(3年次編入学／情報専攻)

■情報専攻コース(秋入学)

科目区分		3年次①	単位	3年次②	単位	4年次①	単位	4年次②	単位	取得 単位	
		春入学生:4月～翌年3月		春入学生:4月～翌年3月		春入学生:4月～翌年3月		春入学生:4月～翌年3月			
専門 教育 科目	経営 基礎 科目	経営学概論	2							2	
		簿記原理	2							2	
		経済原論	2							2	
		ファイナンス入門	2							2	
		マーケティング入門	2							2	
		ミクロ経済学	2							2	
		マクロ経済学	2							2	
		財務会計基礎	2							2	
	経営 基幹 科目			競争戦略論	2	国際経営論	2			4	
				マーケティング論	2	経営組織論	2			4	
				経営管理論	2	金融論	2			4	
				財務諸表論	2					2	
	AI・データ サイエンス 科目	統計分析入門	2	ビジネスデータ分析	2	マーケティング調査	2			6	
		AI・データサイエンス基礎概論	2	経営情報論	2					4	
				デジタルマーケティング	2					2	
	専攻 科目 (D3情報)			コーディング基礎	4	データベース	2	機械学習プログラミング	4	10	
						プログラミング A 基礎	2	プログラミング A 応用	2	4	
								システム開発	2	2	
	演習 科目							卒業論文Ⅰ	2	2	
								卒業論文Ⅱ	2	2	
単位数		20		18		12		12		62	
単位一括認定											62
総単位数											124

履修モデル(3年次編入学／法律専攻)

■法律専攻コース(秋入学生)

科目区分			3年次①	単位	3年次②	単位	4年次①	単位	4年次②	単位	取得 単位	
			春入学生:4月～翌年3月		春入学生:4月～翌年3月		春入学生:4月～翌年3月		春入学生:4月～翌年3月			
専門 教育科目	経営 基礎 科目	経営学概論	2							2		
		簿記原理	2						2			
		経済原論	2						2			
		ファイナンス入門	2						2			
		マーケティング入門	2						2			
		ミクロ経済学	2						2			
		マクロ経済学	2						2			
		財務会計基礎	2						2			
	経営 基幹 科目			競争戦略論	2	国際経営論	2			4		
				マーケティング論	2	経営組織論	2			4		
				企業倫理と社会的責任	2					2		
				経営管理論	2					2		
				財務諸表論	2					2		
	AI・データ サイエンス 科目	統計分析入門	2	ビジネスデータ分析	2	マーケティング調査	2			6		
		AI・データサイエンス基礎概論	2	経営情報論	2					4		
				デジタルマーケティング	2					2		
	専攻 科目	(D4) 法律					民法Ⅰ（総則・物権）	4	会社法	2	6	
							行政法総論	4	刑法総論	2	6	
							民法Ⅱ（債権・親族相続）	2	刑法各論	2	4	
	科演 習							卒業論文Ⅰ	2	2		
								卒業論文Ⅱ	2	2		
単位数			20	16			16			10	62	
単位一括認定												62
総単位数												124

「資料 14（東京経営大学 経営学部 履修モデル）」

履修モデル_1 年次入学_春・秋入学

春入学／経営研究専攻

■経営研究専攻コース

科目区分			1年次	単位	2年次	単位	3年次	単位	4年次	単位	取得 単位
			春入学生:4月～翌年3月		春入学生:4月～翌年3月		春入学生:4月～翌年3月		春入学生:4月～翌年3月		
専門教育科目	言語 目 教 育 科		日本語の技法Ⅰ(読解基礎)	2	日本語の技法Ⅲ(表現)	2					4
			日本語の技法Ⅱ(読解応用)	2							2
			英語Ⅰ(初級英会話)	2							2
	総合 関 係 科 目		統計学入門	2	コーティング論	2					4
			論理学入門	2	現代経済	2					4
			キャリアデザイン	2	情報社会と法	2					4
			法学概論	2							2
	自然 科 目 科 学 関 係		ITリテラシー	2	経済数学	2					4
			コンピュータリテラシー	2	教養としてのデータサイエンス	2					4
			線形代数	2	環境科学	2					4
			数理基礎	2							2
	人文科学 関係科目		比較文化論	2	国際関係論Ⅰ(平和と文化)	2					4
	経営 基 礎 科 目		経営学概論	2	ファイナンス入門	2					4
			簿記原理	2	マーケティング入門	2					4
			経済原論	2	ミクロ経済学	2					4
				マクロ経済学	2						2
				財務会計基礎	2						2
				国際ビジネス入門	2						2
	経営 基 幹 科 目			競争戦略論	2	マーケティング論	2				4
				ブランドマネジメント論	2	企業倫理と社会的責任	2				4
				イノベーション論	2	消費者行動論	2				4
				経営管理論	2	財務諸表論	2				4
						リーダーシップ論	2				2
						現代商品論	2				2
						経営学史	2				2
						国際経営論	2				2
						流通システム論	2				2
						経営組織論	2				2
						金融論	2				2
	サイ デ ィ										

春入学／税務・会計専攻

■税務・会計専攻コース

科目区分			1年次	単位	2年次	単位	3年次	単位	4年次	単位	取得 単位
			春入学生:4月～翌年3月		春入学生:4月～翌年3月		春入学生:4月～翌年3月		春入学生:4月～翌年3月		
専門教育科目	言語教育科目	日本語の技法Ⅰ(読解基礎)	2	日本語の技法Ⅲ(表現)	2					4	
		日本語の技法Ⅱ(読解応用)	2						2		
		英語Ⅰ(初級英会話)	2						2		
		英語Ⅱ(初級英語読解)	2						2		
	総合関係科目	統計学入門	2	コーチング論	2					4	
		論理学入門	2	現代経済	2					4	
		キャリアデザイン	2	情報社会と法	2					4	
		法学概論	2						2		
	自然科目学関	ITリテラシー	2	経済数学	2					4	
		コンピュータリテラシー	2	教養としてのデータサイエンス	2					4	
		線形代数	2	環境科学	2					4	
	人文科学関係科目	比較文化論	2	国際関係論Ⅰ(平和と文化)	2					4	
	経営基礎科目	経営学概論	2	ファイナンス入門	2					4	
		簿記原理	2	マーケティング入門	2					4	
		経済原論	2	ミクロ経済学	2					4	
				マクロ経済学	2					2	
				財務会計基礎	2					2	
				国際ビジネス入門	2					2	
	経営基幹科目			競争戦略論	2	マーケティング論	2			4	
				ブランドマネジメント論	2	企業倫理と社会的責任	2			4	
				イノベーション論	2	消費者行動論	2			4	
				経営管理論	2	財務諸表論	2			4	
						リーダーシップ論	2			2	
						現代商品論	2			2	
						経営学史	2			2	
						国際経営論	2			2	
						流通システム論	2			2	
						経営組織論	2			2	
						金融論	2			2	
	サイエンス科目	統計分析入門	2	AI・データサイエンス基礎概論	2	デジタルマーケティング	2			6	
				ビジネスデータ分析	2	マーケティング調査	2			4	
				経営情報論	2	産業システム論	2			4	
	専攻科目	税務・会計(D2)			現代会計基準論	4	コストマネジメント論	4		8	
					原価計算論	2	意思決定会計論	2		4	
					管理会計論	2	財務会計応用Ⅰ	2		4	
							財務会計応用Ⅱ	2		2	
	科演習							卒業論文Ⅰ	2	2	
								卒業論文Ⅱ	2	2	
単位数			32	42	36			14		124	
総単位数											124

春入学／情報専攻

■情報専攻コース

科目区分			1年次	単位	2年次	単位	3年次	単位	4年次	単位	取得 単位
			春入学生:4月～翌年3月		春入学生:4月～翌年3月		春入学生:4月～翌年3月		春入学生:4月～翌年3月		
専門教育科目	言語 目 教 育 科	日本語の技法Ⅰ(読解基礎)	2	日本語の技法Ⅲ(表現)	2					4	
		日本語の技法Ⅱ(読解応用)	2						2		
		英語Ⅰ(初級英会話)	2						2		
	総合 関 係 科 目	統計学入門	2	コーティング論	2					4	
		論理学入門	2	現代経済	2					4	
		キャリアデザイン	2	情報社会と法	2					4	
		法学概論	2						2		
	自然 科 目 学 関 係	ITリテラシー	2	経済数学	2					4	
		コンピュータリテラシー	2	教養としてのデータサイエンス	2					4	
		線形代数	2	環境科学	2					4	
		数理基礎	2						2		
	人文科学 関係科目	比較文化論	2	国際関係論Ⅰ(平和と文化)	2					4	
	経営 基 礎 科 目	経営学概論	2	ファイナンス入門	2					4	
		簿記原理	2	マーケティング入門	2					4	
		経済原論	2	ミクロ経済学	2					4	
				マクロ経済学	2					2	
				財務会計基礎	2					2	
				国際ビジネス入門	2					2	
	経営 基 幹 科 目			競争戦略論	2	マーケティング論	2			4	
				ブランドマネジメント論	2	企業倫理と社会的責任	2			4	
				イノベーション論	2	消費者行動論	2			4	
				経営管理論	2	財務諸表論	2			4	
						リーダーシップ論	2			2	
						現代商品論	2			2	
						経営学史	2			2	
						国際経営論	2			2	
						流通システム論	2			2	
						経営組織論	2			2	
						金融論	2			2	
		サイ デ ィ ン タ ・ ス ィ ン ス 科 目	統計分析入門	2	AI・データサイエンス基礎概論	2	デジタルマーケティング	2			6
				ビジネスデータ分析	2	マーケティング調査	2			4	
				経営情報論	2	産業システム論	2			4	
	専 攻 科 目	情 報 (D 3)					コーディング基礎	4	機械学習プログラミング	4	8
							データベース	2	プログラミング A 応用	2	4
							プログラミング A 基礎	2	システム開発	2	4
									プログラミング B	2	2
	科 演 目 習							卒業論文Ⅰ	2	2	
								卒業論文Ⅱ	2	2	
単位数			32		42	36		14		124	
総単位数											124

春入学／法律専攻

■法律専攻コース

科目区分			1年次	単位	2年次	単位	3年次	単位	4年次	単位	取得単位
			春入学生:4月～翌年3月		春入学生:4月～翌年3月		春入学生:4月～翌年3月		春入学生:4月～翌年3月		
専門教育科目	言語 目 教育 科	日本語の技法Ⅰ(読解基礎)	2	日本語の技法Ⅲ(表現)	2					4	
		日本語の技法Ⅱ(読解応用)	2						2		
		英語Ⅰ(初級英会話)	2						2		
	総合 関 係 科 目	統計学入門	2	コーティング論	2				4		
		論理学入門	2	現代経済	2				4		
		キャリアデザイン	2	情報社会と法	2				4		
		法学概論	2						2		
	自然 科 目 学 関 係	ITリテラシー	2	経済数学	2				4		
		コンピュータリテラシー	2	教養としてのデータサイエンス	2				4		
		線形代数	2	環境科学	2				4		
		数理基礎							0		
	人文科学 関係科目	比較文化論	2	国際関係論Ⅰ(平和と文化)	2				4		
		世界史Ⅰ	2						2		
	経営 基 礎 科 目	経営学概論	2	ファイナンス入門	2				4		
		簿記原理	2	マーケティング入門	2				4		
		経済原論	2	ミクロ経済学	2				4		
				マクロ経済学	2				2		
				財務会計基礎	2				2		
				国際ビジネス入門	2				2		
	経営 基 幹 科 目			競争戦略論	2	マーケティング論	2		4		
				ブランドマネジメント論	2	企業倫理と社会的責任	2		4		
				イノベーション論	2	消費者行動論	2		4		
				経営管理論	2	財務諸表論	2		4		
						リーダーシップ論	2		2		
						現代商品論	2		2		
						経営学史	2		2		
						国際経営論	2		2		
						流通システム論	2		2		
						経営組織論	2		2		
						金融論	2		2		
	サイ デ イ エ ン ス ・ 科 目	統計分析入門	2	AI・データサイエンス基礎概論	2	デジタルマーケティング	2		6		
				ビジネスデータ分析	2	マーケティング調査	2		4		
				経営情報論	2	産業システム論	2		4		
	専 攻 科 目	法律 (D4)				民法Ⅰ(総則・物権)	4	会社法	2	6	
						行政法総論	4	刑法総論	2	6	
						民法Ⅱ(債権・親族相続)	2	刑法各論	2	4	
						憲法	2			2	
	科 演 習							卒業論文Ⅰ	2	2	
								卒業論文Ⅱ	2	2	
単位数			32		42	40		10		124	
総単位数											124

秋入学／経営研究専攻

■経営研究専攻コース

科目区分			1年次	単位	2年次	単位	3年次	単位	4年次	単位	取得単位
			秋入学生：9月～翌年8月		秋入学生：9月～翌年8月		秋入学生：9月～翌年8月		秋入学生：9月～翌年8月		
専門教育科目	言語 目 教育 科	日本語の技法Ⅰ(読解基礎)	2	日本語の技法Ⅲ(表現)	2					4	
		日本語の技法Ⅱ(読解応用)	2						2		
		英語Ⅰ(初級英会話)	2						2		
	総合 関係 科目	統計学入門	2	コーティング論	2					4	
		論理学入門	2	現代経済	2					4	
		キャリアデザイン	2	情報社会と法	2					4	
		法学概論	2						2		
	自然 科目 学 関 係	ITリテラシー	2	経済数学	2					4	
		コンピュータリテラシー	2	教養としてのデータサイエンス	2					4	
		線形代数	2	環境科学	2					4	
		数理基礎	2						2		
	人文科学 関係科目	比較文化論	2	国際関係論Ⅰ(平和と文化)	2					4	
	経営 基 礎 科 目	経営学概論	2	ファイナンス入門	2					4	
		簿記原理	2	マーケティング入門	2					4	
		経済原論	2	ミクロ経済学	2					4	
				マクロ経済学	2					2	
				財務会計基礎	2					2	
				国際ビジネス入門	2					2	
	経営 基 幹 科 目			競争戦略論	2	マーケティング論	2			4	
				ブランドマネジメント論	2	企業倫理と社会的責任	2			4	
				イノベーション論	2	消費者行動論	2			4	
				経営管理論	2	財務諸表論	2			4	
						リーダーシップ論	2			2	
						現代商品論	2			2	
						経営学史	2			2	
						国際経営論	2			2	
						流通システム論	2			2	
						経営組織論	2			2	
						金融論	2			2	
	サイ デ ィ エ ン タ ・ ス	統計分析入門	2	AI・データサイエンス基礎概論	2	デジタルマーケティング	2			6	
				ビジネスデータ分析	2	マーケティング調査	2			4	
				経営情報論	2	産業システム論	2			4	
	専 攻 科 目	(D1) 経営 研 究				中小企業論	4	経営分析論	4	8	
						生産管理論	2	組織行動論	2	4	
						戦略的行動論	2	リスクマネジメント論	2	4	
								経済学応用	2	2	
	科 演 目 習						卒業論文Ⅰ	2	2		
							卒業論文Ⅱ	2	2		
単位数			32		42	36		14		124	
総単位数											124

秋入学／税務・会計専攻

■税務・会計専攻コース

科目区分			1年次	単位	2年次	単位	3年次	単位	4年次	単位	取得 単位
			秋入学生：9月～翌年8月		秋入学生：9月～翌年8月		秋入学生：9月～翌年8月		秋入学生：9月～翌年8月		
専門教育科目	言語教育科目		日本語の技法Ⅰ(読解基礎)	2	日本語の技法Ⅲ(表現)	2					4
			日本語の技法Ⅱ(読解応用)	2						2	
			英語Ⅰ(初級英会話)	2						2	
			英語Ⅱ(初級英語読解)	2						2	
	総合関係科目		統計学入門	2	コーチング論	2					4
			論理学入門	2	現代経済	2					4
			キャリアデザイン	2	情報社会と法	2					4
			法学概論	2							2
	自然 係科 科目 学関		ITリテラシー	2	経済数学	2					4
			コンピュータリテラシー	2	教養としてのデータサイエンス	2					4
			線形代数	2	環境科学	2					4
	人文科学 関係科目		比較文化論	2	国際関係論Ⅰ(平和と文化)	2					4
	経営 基礎 科目		経営学概論	2	ファイナンス入門	2					4
			簿記原理	2	マーケティング入門	2					4
			経済原論	2	ミクロ経済学	2					4
				マクロ経済学	2					2	
				財務会計基礎	2					2	
				国際ビジネス入門	2					2	
	経営 基幹 科目			競争戦略論	2	マーケティング論	2				4
				ブランドマネジメント論	2	企業倫理と社会的責任	2				4
				イノベーション論	2	消費者行動論	2				4
				経営管理論	2	財務諸表論	2				4
						リーダーシップ論	2				2
						現代商品論	2				2
						経営学史	2				2
						国際経営論	2				2
						流通システム論	2				2
						経営組織論	2				2
						金融論	2				2
	サイ デ ィ 										

秋入学／情報専攻

■情報専攻コース

科目区分		1年次	単位	2年次	単位	3年次	単位	4年次	単位	取得単位
		秋入学生：9月～翌年8月		秋入学生：9月～翌年8月		秋入学生：9月～翌年8月		秋入学生：9月～翌年8月		
専門教育科目	言語 目 教 育 科	日本語の技法Ⅰ(読解基礎)	2	日本語の技法Ⅲ(表現)	2					4
		日本語の技法Ⅱ(読解応用)	2						2	
		英語Ⅰ(初級英会話)	2						2	
	総合 関 係 科 目	統計学入門	2	コーティング論	2					4
		論理学入門	2	現代経済	2					4
		キャリアデザイン	2	情報社会と法	2					4
		法学概論	2						2	
	自然 科 目 学 関 係	ITリテラシー	2	経済数学	2					4
		コンピュータリテラシー	2	教養としてのデータサイエンス	2					4
		線形代数	2	環境科学	2					4
		数理基礎	2						2	
	人文科学 関係科目	比較文化論	2	国際関係論Ⅰ(平和と文化)	2					4
	経営 基 礎 科 目	経営学概論	2	ファイナンス入門	2					4
		簿記原理	2	マーケティング入門	2					4
		経済原論	2	ミクロ経済学	2					4
				マクロ経済学	2					2
				財務会計基礎	2					2
				国際ビジネス入門	2					2
	経営 基 幹 科 目			競争戦略論	2	マーケティング論	2			4
				ブランドマネジメント論	2	企業倫理と社会的責任	2			4
				イノベーション論	2	消費者行動論	2			4
				経営管理論	2	財務諸表論	2			4
						リーダーシップ論	2			2
						現代商品論	2			2
						経営学史	2			2
						国際経営論	2			2
						流通システム論	2			2
						経営組織論	2			2
						金融論	2			2
		サイ デ ィ ン タ ・ ス ィ ン ス 科 目	統計分析入門	2	AI・データサイエンス基礎概論	2	デジタルマーケティング	2		
				ビジネスデータ分析	2	マーケティング調査	2			4
				経営情報論	2	産業システム論	2			4
	専 攻 科 目	情 報 (D 3)				コーディング基礎	4	機械学習プログラミング	4	8
						データベース	2	プログラミング A 応用	2	4
						プログラミング A 基礎	2	システム開発	2	4
								プログラミング B	2	2
	科 演 目 習							卒業論文Ⅰ	2	2
								卒業論文Ⅱ	2	2
単位数			32		42	36		14		124
総単位数										124

秋入学／法律専攻

■法律専攻コース

科目区分		1年次	単位	2年次	単位	3年次	単位	4年次	単位	取得 単位
		秋入学生：9月～翌年8月		秋入学生：9月～翌年8月		秋入学生：9月～翌年8月		秋入学生：9月～翌年8月		
専門教育科目	言語 目 教 育 科	日本語の技法Ⅰ(読解基礎)	2	日本語の技法Ⅲ(表現)	2					4
		日本語の技法Ⅱ(読解応用)	2							2
		英語Ⅰ(初級英会話)	2							2
	総合 関 係 科 目	統計学入門	2	コーチング論	2					4
		論理学入門	2	現代経済	2					4
		キャリアデザイン	2	情報社会と法	2					4
		法学概論	2							2
	自然 科 学 関 係 科 目	ITリテラシー	2	経済数学	2					4
		コンピュータリテラシー	2	教養としてのデータサイエンス	2					4
		線形代数	2	環境科学	2					4
		数理基礎								0
	人文科学 関係科目	比較文化論	2	国際関係論Ⅰ(平和と文化)	2					4
		世界史Ⅰ	2							2
	経営 基 礎 科 目	経営学概論	2	ファイナンス入門	2					4
		簿記原理	2	マーケティング入門	2					4
		経済原論	2	ミクロ経済学	2					4
				マクロ経済学	2					2
				財務会計基礎	2					2
				国際ビジネス入門	2					2
	経営 基 幹 科 目			競争戦略論	2	マーケティング論	2			4
				ブランドマネジメント論	2	企業倫理と社会的責任	2			4
				イノベーション論	2	消費者行動論	2			4
				経営管理論	2	財務諸表論	2			4
						リーダーシップ論	2			2
						現代商品論	2			2
						経営学史	2			2
						国際経営論	2			2
						流通システム論	2			2
						経営組織論	2			2
						金融論	2			2
	サイ デ ィ エ ン ス ・ コ ー ス	統計分析入門	2	AI・データサイエンス基礎概論	2	デジタルマーケティング	2			6
				ビジネスデータ分析	2	マーケティング調査	2			4
				経営情報論	2	産業システム論	2			4
	専 攻 科 目	法律 (D4)				民法Ⅰ(総則・物権)	4	会社法	2	6
						行政法総論	4	刑法総論	2	6
						民法Ⅱ(債権・親族相続)	2	刑法各論	2	4
						憲法	2			2
	科 演 習						卒業論文Ⅰ	2	2	
							卒業論文Ⅱ	2	2	
単位数			32		42	40		10	124	
総単位数										124

「資料15 (dotCampus 機能一覧) 」

dotCampus Ver5.47 機能一覧

モジュール	機能	説明
共通	メール登録	プライベートメールアドレスを登録する機能。 各種通知メールは、学校メールアドレスに加え、プライベートメールアドレスでも受信可能。
	写真登録	顔写真を登録する機能
	通知	自分に対してアクションがあった場合に通知する機能
コース	コーチ	教員専用の、コース全体の状況を確認するための機能
	学生NOW	教員専用の、学生の活動を確認するための機能
	ダウンロードセンター	コースへのアクセスログや、学習の進捗を一括ダウンロードする機能
	コースNOW	学生専用の、コース全体の動きを把握するための機能
	マナビ	教員が提出物や学習教材などのタスクをフォルダ内に整理して提示し、学生が学習するための機能。 教員は全てのタスクの、学生の進捗状況を確認可能。 提出物： レポート、テスト、アンケート、振り返り 教材： 入力した文字や画像、講義概要・理解度アンケート、配付資料、SCORM教材 WEBリンク、ビデオ、Youtube、Microsoft Stream ・章や学習のテーマごとに整理することが可能なユニット機能付き ・個別の学生や、任意で作成したグループへの教材提示が可能 ・公開開始日/終了日、提出期間、提出回数、可否の公開/非公開、得点公開/非公開 正解や模範解答の 公開/非公開など、柔軟な設定により様々な状況で利用可能 ・教材利用の前提条件としてテストやレポートの可否を設定することが可能
	コースフィード	コース内で自由に会話できるソーシャル機能。クリッカーのような投票機能付き。
	お知らせ	教員から学生への連絡機能
	フォーラム	特定のテーマについてディスカッションする機能
	成績	教員が様々な項目に対して評価し評定を算出、学生が自分の成績を確認する機能 マナビで実施したテストやレポートの成績を連携する事が可能
	出席 ※オプション	学生による出席申請が可能な、出欠管理機能
	グループ	コースメンバーをグループ分けし、コラボレーション学習が可能な機能
	コラボノート	グループ内でメッセージやファイルのやり取りをする機能。タグやプロジェクトでの検索機能付き。
	ファイル	グループ内のファイルを管理、共有する機能。タグやプロジェクトでの検索機能付き。
	Q&A	学生が質問し、教員が回答する機能。学生との個人的なやり取り。
	レポート管理	教員が、提出されたレポートを管理する機能
	アンケート管理	教員が、提出されたアンケートを管理する機能
	テスト管理	教員が、提出されたテストを管理する機能
	タグ管理	教員が、コース内のアイテムに登録する検索用のタグを管理する機能
	タグ検索	タグによってコース内のアイテムを検索する機能
	教材ライブラリ	教員専用の、教材を保管し、他の教員と教材を共有する機能
	コース管理	教員が、コース内で利用する機能などの設定を行う機能
	ゼミ管理	教員が、任意でグループを作成し、ユーザを登録する機能
	コースアーカイブ	コースの構成をアーカイブし、担当している別のコースに復元する機能
	スケジュール	教職員がコース共通のスケジュールを登録し、学生は自分の登録されているコースのスケジュールを閲覧する機能
	一般教材ライブラリ	学内全体に対して教材を公開する機能
	コース自己登録	学生が、履修確定前にコースに仮登録する機能
	お気に入りコース	良く利用するコースやゼミをお気に入りに登録する機能
ポータル	お知らせ	学校職員から学生への連絡機能
	スケジュール	職員が学校や学部・学科の共通スケジュールを登録し、学生は自分のグループのスケジュールを閲覧する機能
	WEBディレクトリ	職員がWEBページへのリンクを登録し、学生が利用する機能
	時間割	自分の時間割を見る機能
コミュニティ ※無料	プロフィール	プロフィールを登録する機能
	ユーザ検索	学内ユーザを検索する機能
	コースメンバー検索	クラスメートを検索する機能
	ソーシャル機能	学生同士、学生と教員が繋がる機能
	コミュニティフィード	自分の近況などを投稿し、自分と繋がっているユーザと共有する機能
ブレイック	コンピテンシー管理	学生が身に付ける知識、技能、態度をコンピテンシーとして定義し、教職員が共有する機能
	ループリック管理	評価の為のループリックを定義し、教職員が共有する機能
	コース管理	教職員間でコースを共有し、複数のコースのタスクやアクセス状況を一括管理する機能
その他 ※オプション	データ自動連携	教務システムから出力されるデータを自動的に同期する機能
	LDAP認証	ADまたはLDAP認証サーバでの認証機能
	Azure AD認証	Azure ADでの認証機能。Office365とのSSOが可能
	iOSアプリ	コースとポータルのお知らせを受信可能なiOSアプリ。お知らせ受信時の通知機能付き。



DOTCAMPUS ポータルのご提案

インターレクト株式会社

1

ポータルの概要

スタイリッシュに生まれ変わった dotCampus ポータルの魅力は、新しいユーザーインターフェース。学生も、そして教員さえワクワク利用できます。やる気が出ることまちがいなし。

タッチ画面を100%サポートするため、dotCampus はスクラッチから書き換えられました。スマホから、タブレットから、PCから、どんな環境からでも気軽に学校ポータルにアクセスできます。

dotCampusは、オンラインのコミュニティ。学生の連帯を創り上げ、高めます。

dotCampusは拡張性の高いシステムです。授業評価、LMS、ポートフォリオモジュールの追加も簡単に行えます。

2

ポータルトップページ

マルチデバイスに対応したポータルページには、いつでもどこからでもアクセス可能。必要な情報をリアルタイムで確実に届けます。



PC画面



タブレット画面



スマートフォン画面

3

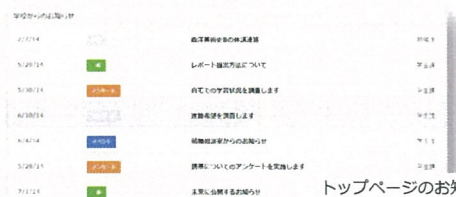
学校からのお知らせ

トップページのお知らせ一覧には、種類や緊急度、送信部門などのプロパティ情報が表示されます

詳細はお知らせトレイで閲覧します

種類や掲載期間で
お知らせを抽出できます

閲覧済みのお知らせは、トップページから消すという選択ができます



トップページのお知らせ一覧



お知らせトレイ

4

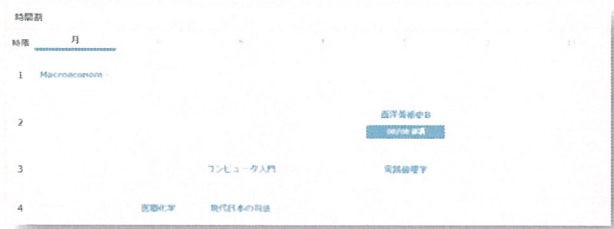
時間割

時間割には現在開講中の講義を表示。

休講・補講・教室変更のお知らせを受信した場合は講義名と共に表示。

休講・補講・教室変更の
マークと日付はお知らせへの
リンクとなっています

LMSモジュールと一緒に利用すると、
講義名から授業スペースへ
すぐに移動できます



5

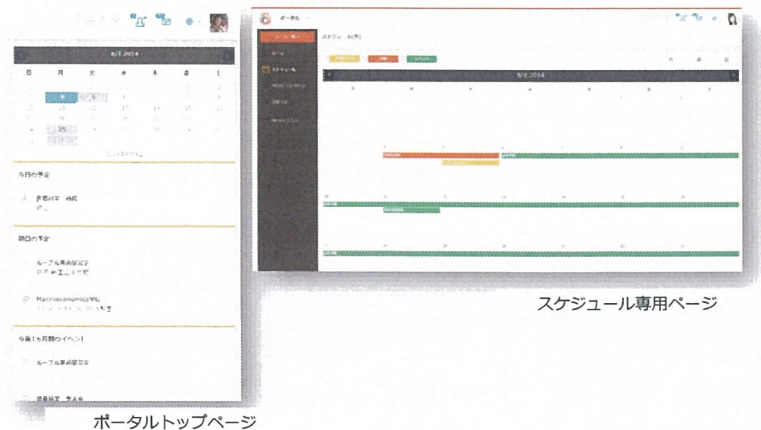
スケジュール

学校全体、学部・学科、授業のスケジュールを表示

- スケジュールは、職員によってCSVファイルで一括管理されます

ポータルトップページには
今日と明日のスケジュール、
今後1か月間のイベントが表示されます

スケジュール専用ページは、
日・週・月単位ですべてのスケジュール
を確認することができます



6

WEBディレクトリ

ポータルから学内の各サイトへのリンクをひとまとめに表示

カテゴリ毎に登録されているので
見つけ易い

リンク先ページのサムネイルが
表示され、視覚的に判別できます



7

豊富なお知らせの種類

一般連絡

- 部門からの、一般的なお知らせ内容を送信します。

イベント情報

- 学園祭や就職説明会などのイベント情報を送信します。

休講連絡

- 講義と日程を指定し、休講をお知らせします。お知らせは時間割へ連携され、講義の位置にメッセージが表示されます。

補講連絡

- 講義と日程を指定し、補講スケジュールをお知らせします。お知らせは時間割へ連携され、講義の位置にメッセージが表示されます。

教室変更連絡

- 講義と日程を指定し、教室変更をお知らせします。お知らせは時間割へ連携され、講義の位置にメッセージが表示されます。

学生呼び出し

- 学生を呼び出す場合に利用します。お知らせ送信後、学生毎の呼び出し状況をコメントとともに管理することができます。

アンケート

- 安否確認にも利用できるアンケート機能。お知らせにアンケートを添付して送信します。アンケート結果は自動的に集計され、ダウンロードも可能です。

8

お知らせは部門ごとに管理

お知らせは職員の所属する部門（教務課、学生課）が管理。

- ・職員は所属部門としてお知らせを送信します。
- ・そして、自分の所属する部門から送信されたお知らせのみを閲覧・編集できます。

アドレスリストの作成も可能。

- ・例：「奨学金給付学生」

9

お知らせ送信

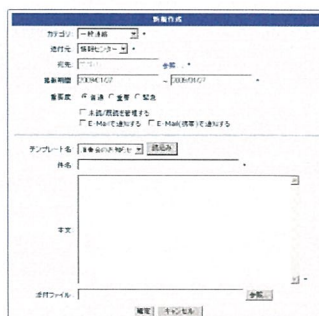
学内の各部署からのお知らせを確実に効率よく配信

ポータルトップページへの
掲載期間設定

緊急お知らせの仕組み

ファイルの添付

メール通知



10

テンプレートからお知らせ作成

繰り返し利用するお知らせの場合、メッセージテンプレートを利用することで、お知らせを作成する手間を軽減

送信者や送信部門をパラメータとして使えるので、より汎用的にテンプレートを利用できます

お知らせ送信画面から
テンプレート呼び出します



11

未読・既読の管理

受信者の未読・既読状態を管理できるので、未読ユーザのフォローが可能

お知らせを参照した日時が記録されます

お知らせを開封していない受信者に対して
メールで注意を喚起します

未読・既読管理画面		
氏名	学籍/教員番号	参照日
◎ 学生	s001	
山田 太郎	s01	2009/01/23 19:16:29
高橋 治	s02	
宮城 洋子	s03	
サンプル 学生	student01	
佐藤 野矢	1001	2009/01/23 19:31:03
水谷 義明	101	2009/01/23 19:32:24

12

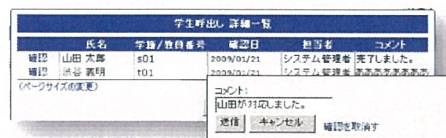
学生の呼び出し

学生への対応状況を管理

対応状況を担当者氏名と共に管理

コメントの入力が可能

送信済お知らせ一覧画面でも
対応が完了した学生の数を確認可能



The screenshot shows a table titled '学生呼出し 詳細一覧' (Student Callout Details List). The table has columns for '氏名' (Name), '学籍/教員番号' (Student/Teacher Number), '確認日' (Confirmation Date), '担当者' (Staff), and 'コメント' (Comment). Two rows are visible: one for '山田 太郎' (Yamada Taro) with ID 'S01' and confirmation date '2009/01/21', and another for '渋谷 義明' (Shibuya Yoshinori) with ID 'T01' and confirmation date '2009/01/21'. Below the table, a comment input dialog is open, showing a text area with the text '山田が対応しました。' (Yamada has responded.) and buttons for '送信' (Send), 'キャンセル' (Cancel), and '確認を取消す' (Cancel Confirmation).

氏名	学籍/教員番号	確認日	担当者	コメント
山田 太郎	S01	2009/01/21	システム管理係	完了しました。
渋谷 義明	T01	2009/01/21	システム管理係	完了しました。

13

機能 一覧

職員のための豊富なお知らせ機能

学校全体および授業ごとのスケジュール

学生の時間割

休講、補講、教室変更の表示

ウェブラック集

コミュニティ

14

「資料16 (既修得単位の読替え表) 」

3年次編入の一括認定単位数：62単位			
科目区分		単位認定詳細	
総合教育科目	言語教育科目	既修得科目に関わらず、 54単位を一括認定	総合教育科目について、 修得必要な残りの単位はなしとなる。
	総合関係科目		
	自然科学関係科目		
	人文科学関係科目		
専門教育科目	経営基礎科目	既修得科目に関わらず、 8単位を一括認定	経営基礎科目について、 修得必要な残りの単位は14単位となる。
	経営基幹科目		経営基幹科目について、 修得必要な残りの単位は12単位となる。